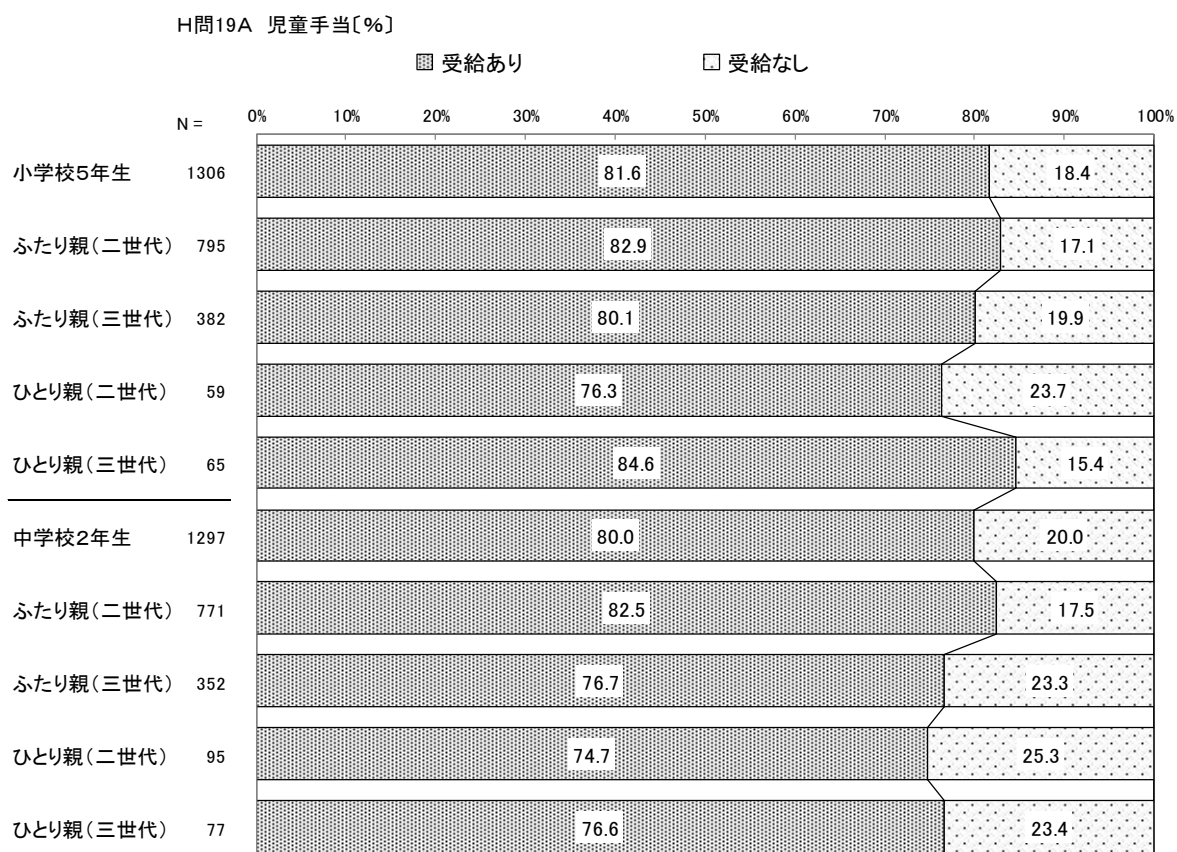
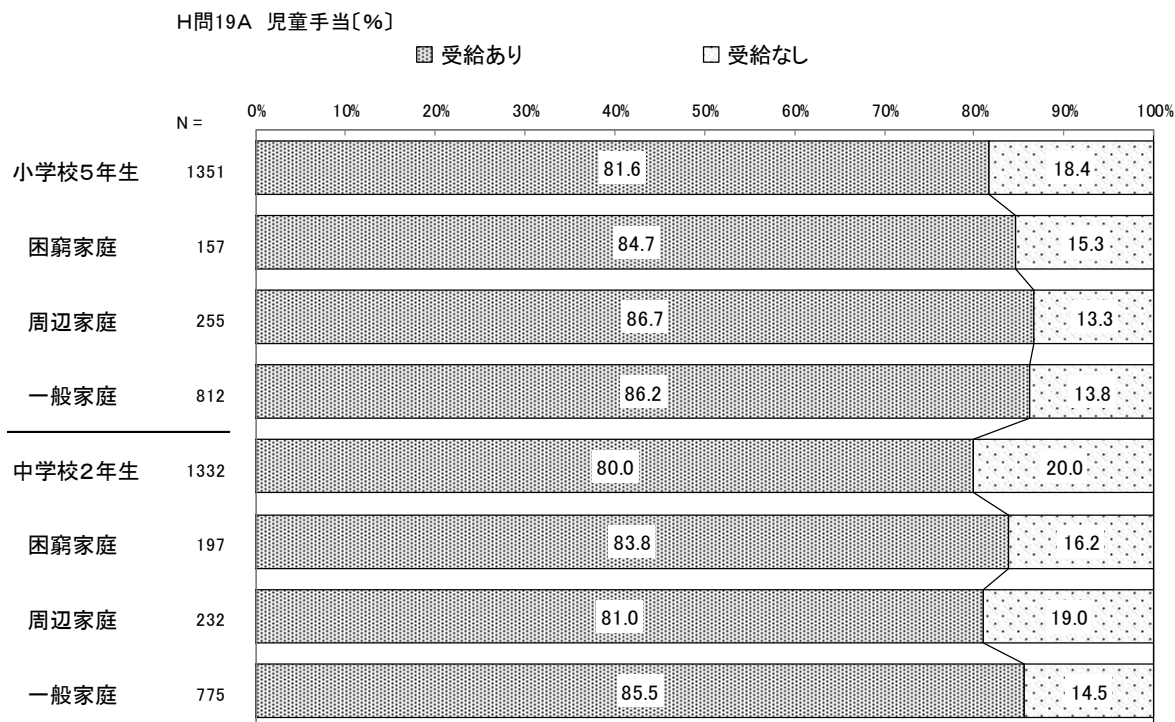


(6) 世帯のこと・生活に関すること

問 19 あなたの世帯で、次のような手当、公的年金、社会保障給付金の受給額はいくらですか。

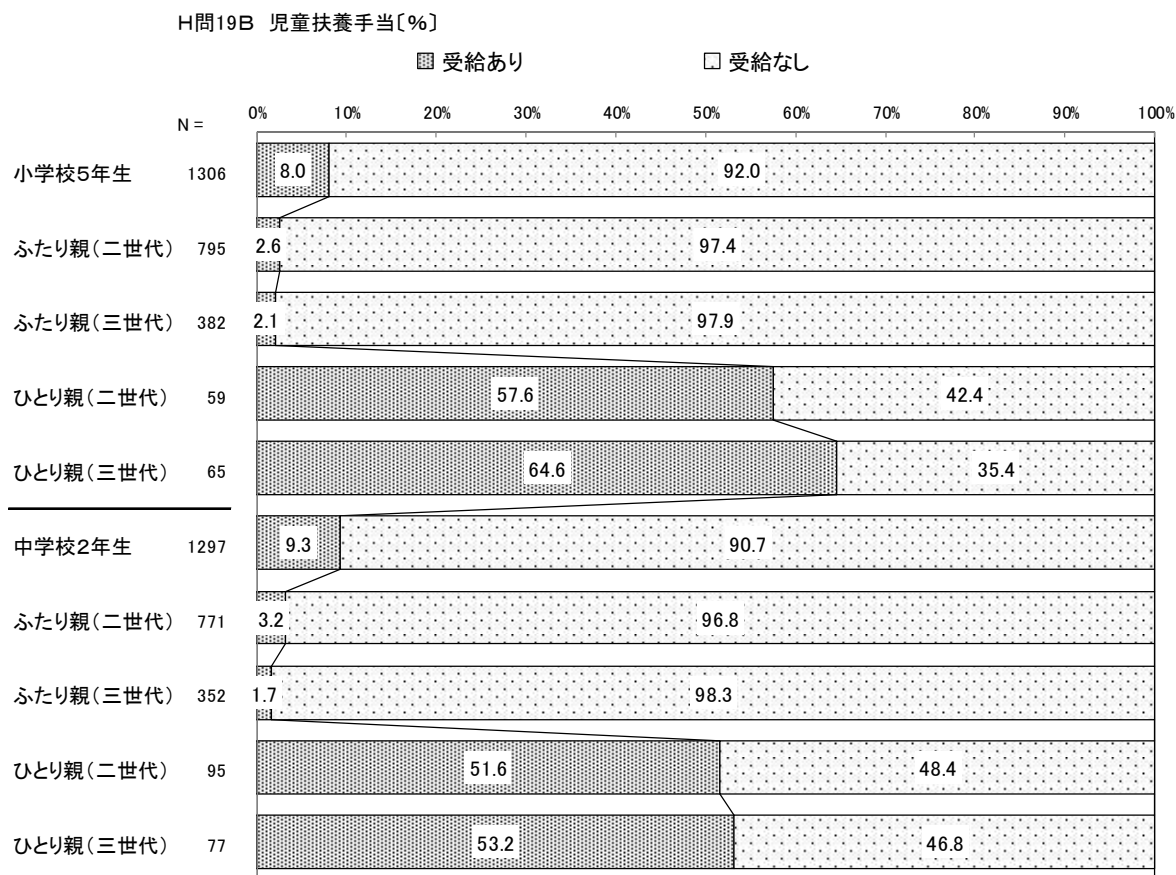
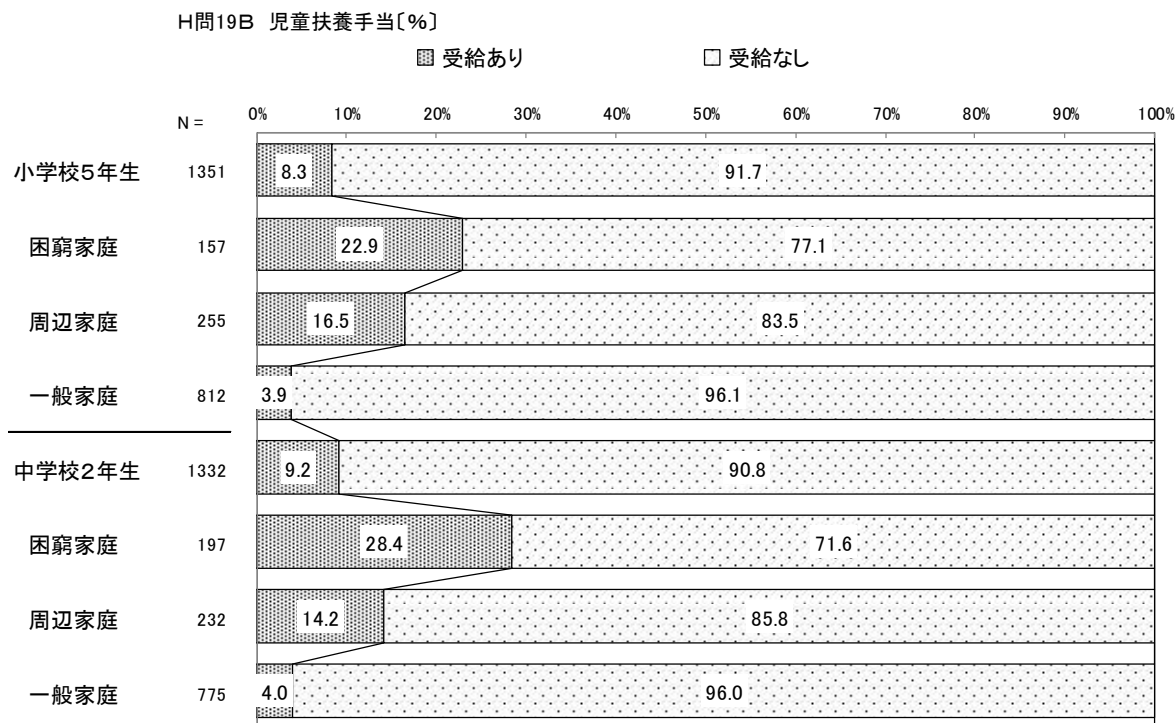
A 児童手当

学年・生活困難度別、学年・世帯別ともにあまり違いはみられない。



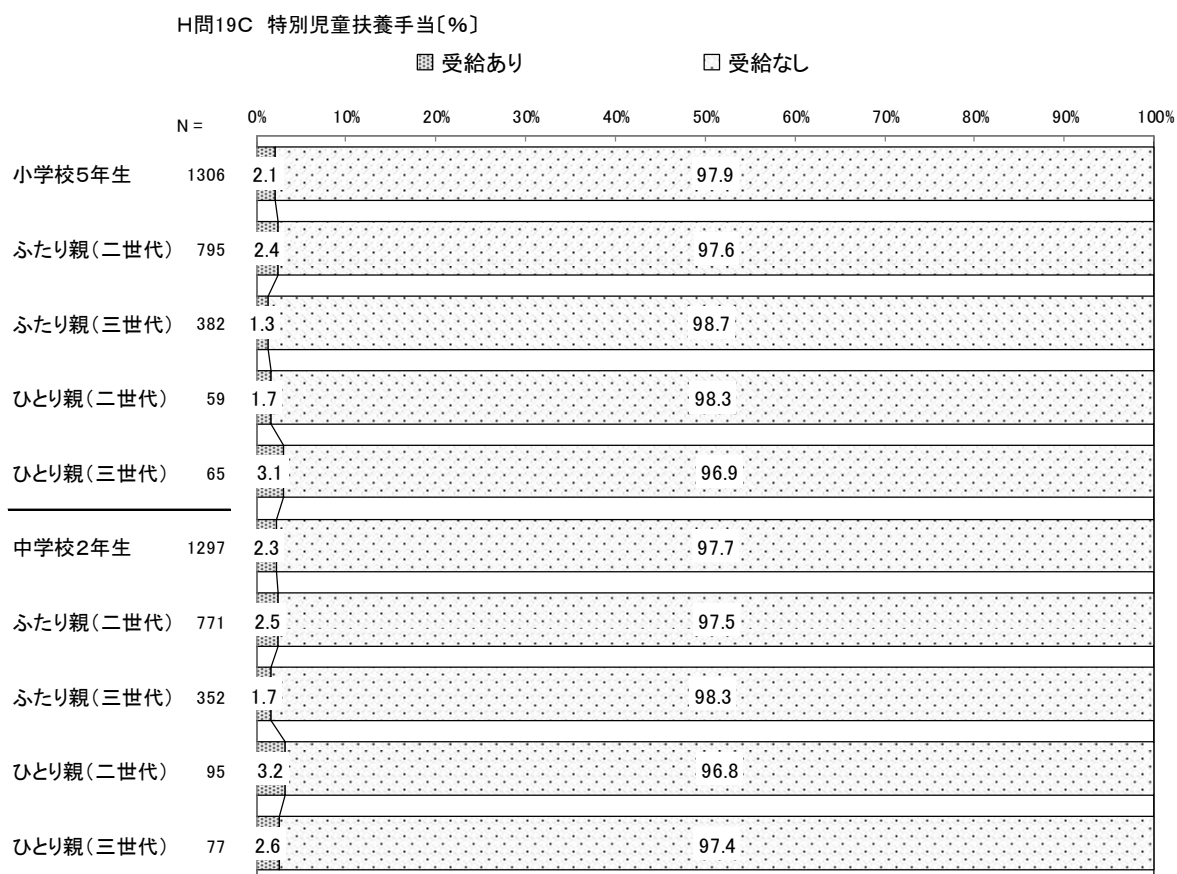
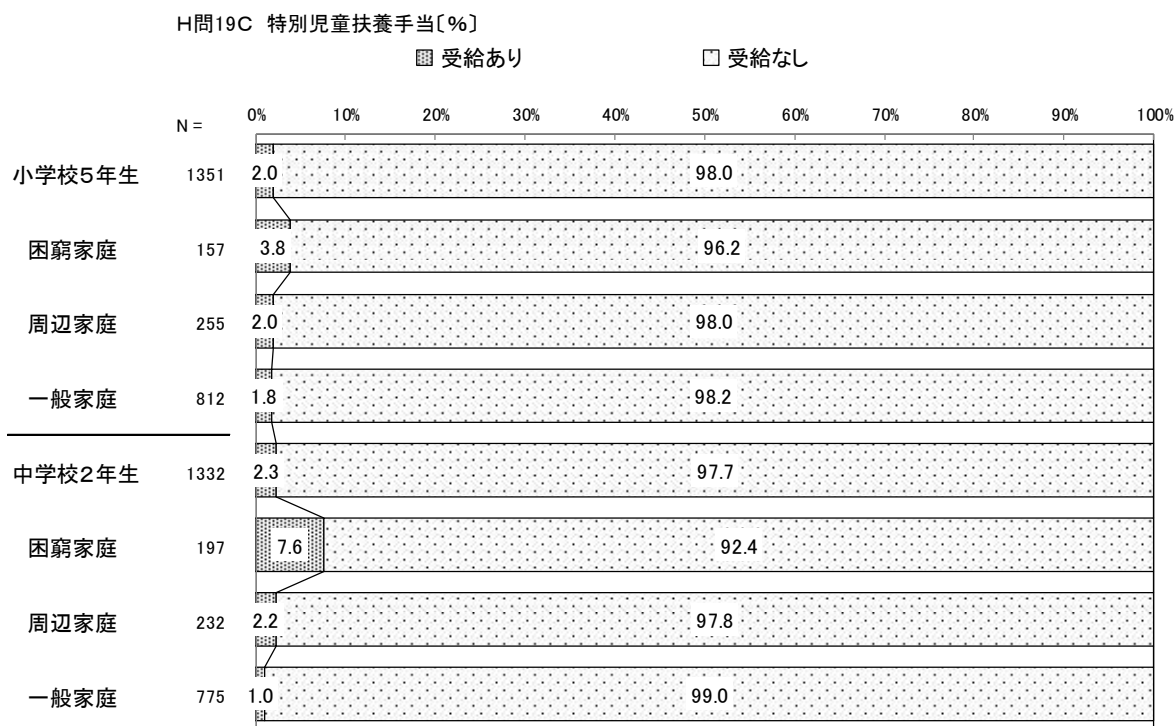
B 児童扶養手当

学年・生活困難度別では、各学年の困窮家庭で「受給あり」がともに22%を超えて多い。
 学年・世帯別では、各学年のひとり親（二世帯）とひとり親（三世帯）で「受給あり」がいずれも50%を超えて多い。



C 特別児童扶養手当

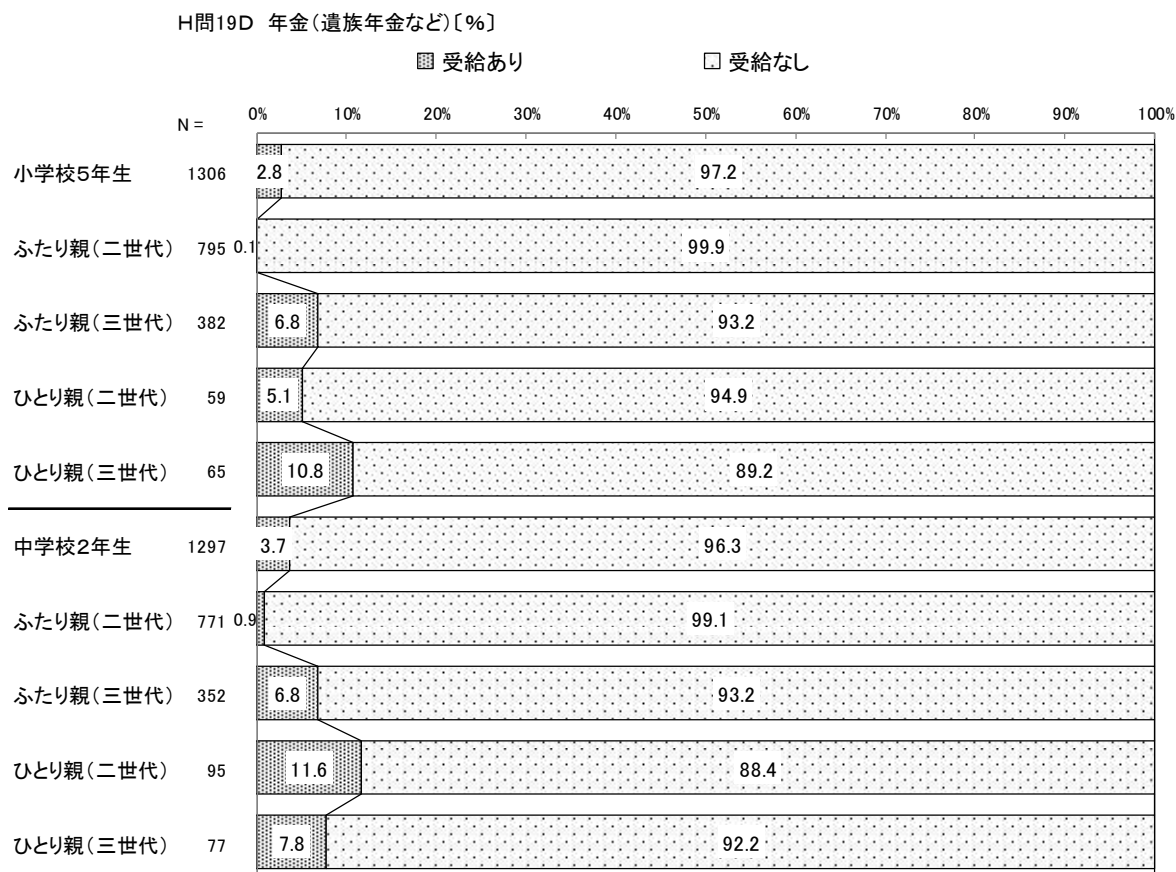
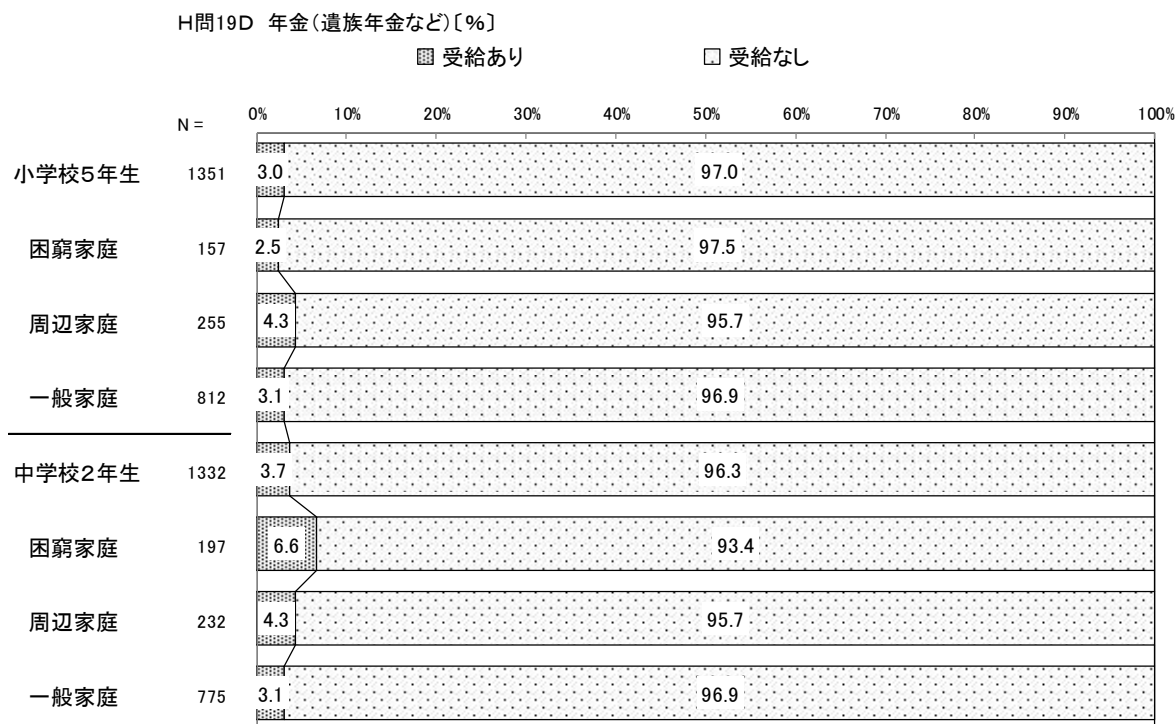
学年・生活困難度別では、中学校2年生の困窮家庭で「受給あり」が7.6%と多い。
 学年・世帯別では、あまり違いはみられない。



D 年金（遺族年金など）

学年・生活困難度別では、中学校2年生の困窮家庭で「受給あり」が6.6%とやや多い。

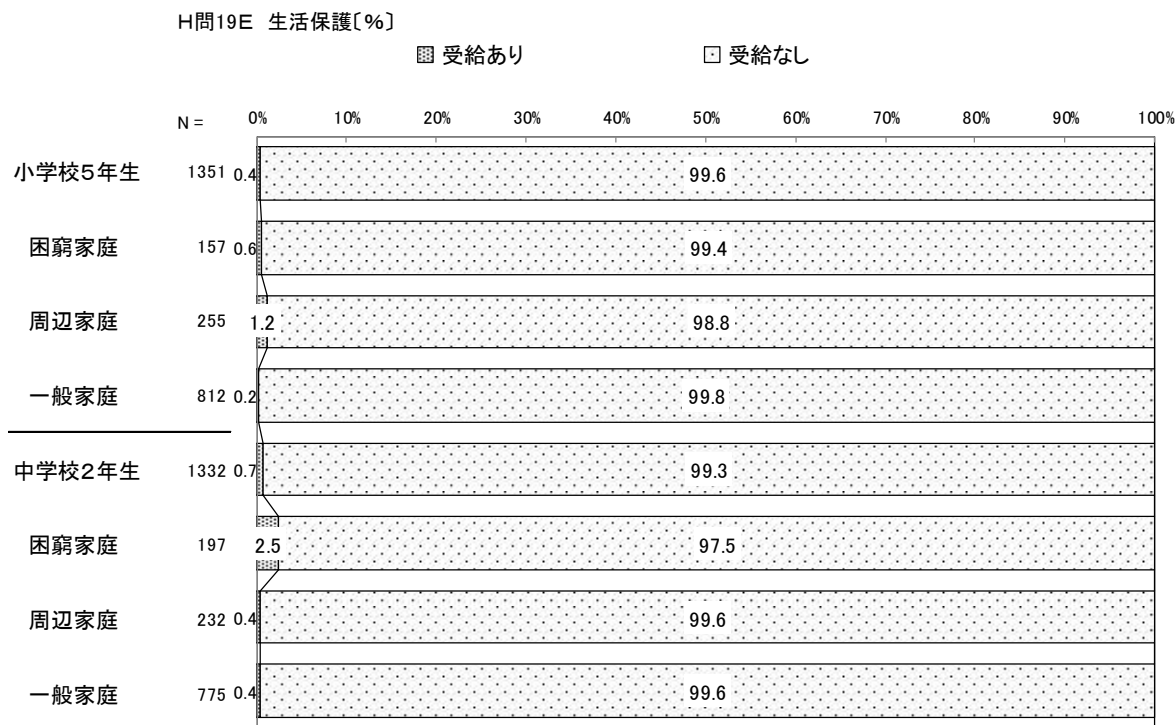
学年・世帯別では、小学校5年生のひとり親（三世代）と中学校2年生のひとり親（二世帯）で「受給あり」が11%前後とやや多い。



E 生活保護

学年・生活困難度別では、小学校5年生の周辺家庭と中学校2年生の困窮家庭で「受給あり」がそれぞれ1.2%、2.5%である。

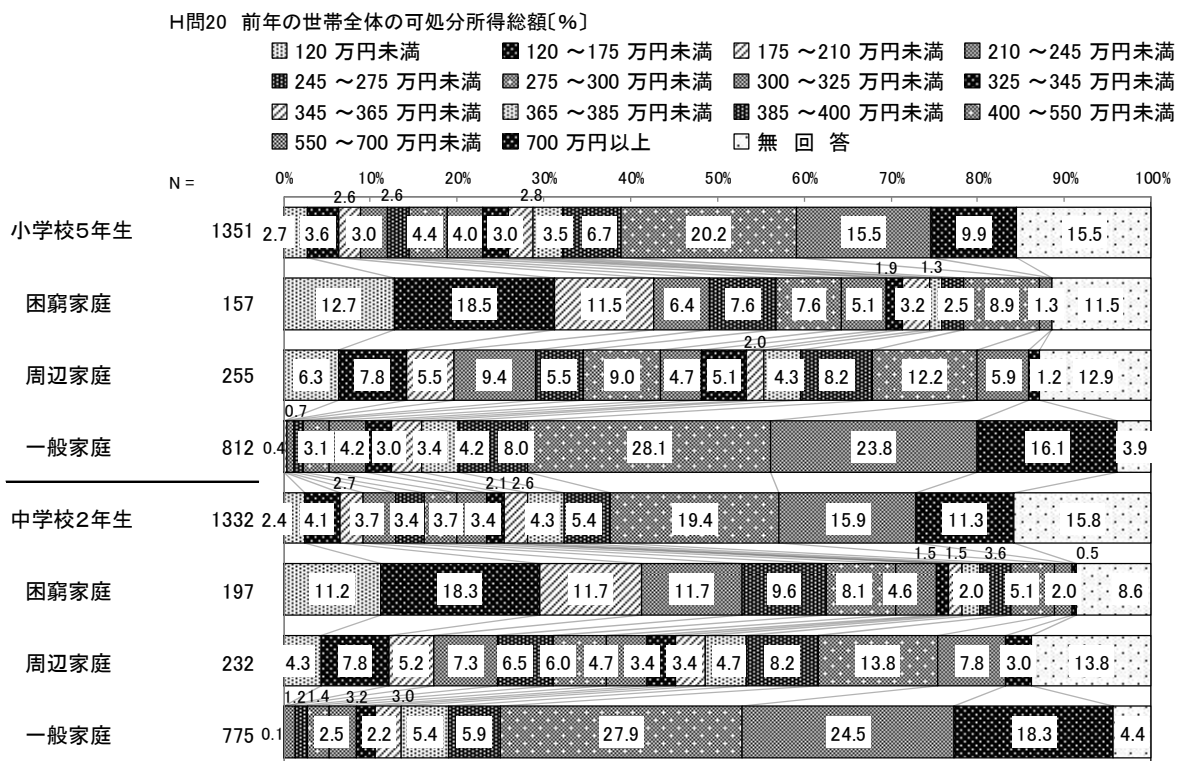
学年・世帯別では、小学校5年生のひとり親（二世代）と中学校2年生のひとり親（二世代）で「受給あり」がそれぞれ1.7%、4.2%である。



問20 前年（2017年1月～12月）のあなたの世帯全体の可処分所得（手取り）総額は、合計でおよそいくらですか。就労による所得（会社員の方等は住民税を引く）に加え、問19で回答した手当・年金等の年額に、雇用保険等の支給額や親族等からの仕送りを足した金額でお答えください。

学年・生活困難度別では、各学年の困窮家庭で「120～175万円未満」が18%台、「120万円未満」が12%前後、「175～210万円未満」が11%台と多い。小学校5年生と中学校2年生の一般家庭で「400～550万円未満」以上の回答が多い。

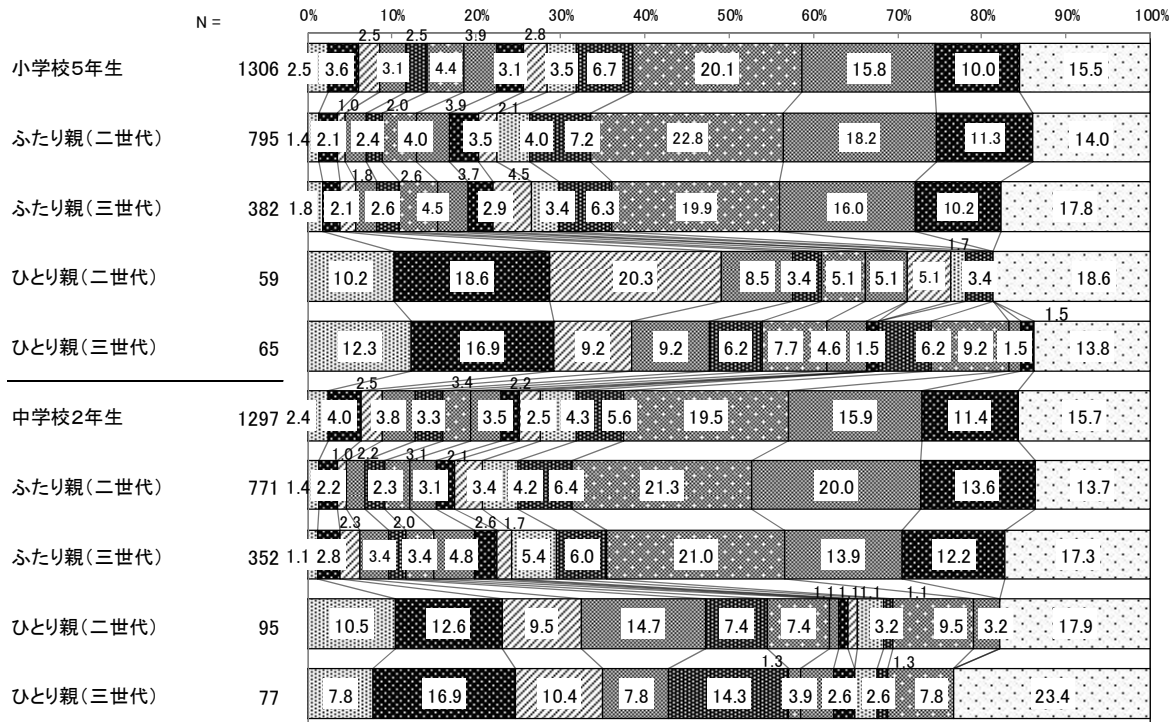
学年・世帯別では、小学校5年生のひとり親（二世帯）で「175～210万円未満」が20.3%と多く、「120～175万円」が18.6%、「120万円未満」が10.2%となっている。



	H問20 前年の世帯全体の可処分所得総額[%]														
	120万円未満	120～175万円未満	175～210万円未満	210～245万円未満	245～275万円未満	275～300万円未満	300～325万円未満	325～345万円未満	345～365万円未満	365～385万円未満	385～400万円未満	400～550万円未満	550～700万円未満	700万円以上	無回答
小学生5年生	2.7	3.6	2.6	3.0	2.6	4.4	4.0	3.0	2.8	3.5	6.7	20.2	15.5	9.9	15.5
困窮家庭	12.7	18.5	11.5	6.4	7.6	7.6	5.1	1.9	3.2	1.3	2.5	8.9	1.3	0.0	11.5
周辺家庭	6.3	7.8	5.5	9.4	5.5	9.0	4.7	5.1	2.0	4.3	8.2	12.2	5.9	1.2	12.9
一般家庭	0.0	0.0	0.4	0.7	1.1	3.1	4.2	3.0	3.4	4.2	8.0	28.1	23.8	16.1	3.9
中学生2年生	2.4	4.1	2.7	3.7	3.4	3.7	3.4	2.1	2.6	4.3	5.4	19.4	15.9	11.3	15.8
困窮家庭	11.2	18.3	11.7	11.7	9.6	8.1	4.6	1.5	1.5	2.0	3.6	5.1	2.0	0.5	8.6
周辺家庭	4.3	7.8	5.2	7.3	6.5	6.0	4.7	3.4	3.4	4.7	8.2	13.8	7.8	3.0	13.8
一般家庭	0.0	0.0	0.1	1.2	1.4	2.5	3.2	2.2	3.0	5.4	5.9	27.9	24.5	18.3	4.4

H問20 前年の世帯全体の可処分所得総額[%]

120万円未満 120～175万円未満 175～210万円未満 210～245万円未満
 245～275万円未満 275～300万円未満 300～325万円未満 325～345万円未満
 345～365万円未満 365～385万円未満 385～400万円未満 400～550万円未満
 550～700万円未満 700万円以上 無回答



	H問20 前年の世帯全体の可処分所得総額[%]														
	120万円未満	120～175万円未満	175～210万円未満	210～245万円未満	245～275万円未満	275～300万円未満	300～325万円未満	325～345万円未満	345～365万円未満	365～385万円未満	385～400万円未満	400～550万円未満	550～700万円未満	700万円以上	無回答
全体	2.4	3.8	2.5	3.4	2.9	3.9	3.7	2.6	2.7	3.9	6.1	19.8	15.9	10.7	15.6
小学生5年生	2.5	3.6	2.5	3.1	2.5	4.4	3.9	3.1	2.8	3.5	6.7	20.1	15.8	10.0	15.5
ふたり親(二世帯)	1.4	2.1	1.0	2.4	2.0	4.0	3.9	3.5	2.1	4.0	7.2	22.8	18.2	11.3	14.0
ふたり親(三世帯)	1.8	2.1	1.8	2.6	2.6	4.5	3.7	2.9	4.5	3.4	6.3	19.9	16.0	10.2	17.8
ひとり親(二世帯)	10.2	18.6	20.3	8.5	3.4	5.1	5.1	0.0	5.1	1.7	3.4	0.0	0.0	0.0	18.6
ひとり親(三世帯)	12.3	16.9	9.2	9.2	6.2	7.7	4.6	1.5	0.0	0.0	6.2	9.2	1.5	1.5	13.8
中学生2年生	2.4	4.0	2.5	3.8	3.3	3.4	3.5	2.2	2.5	4.3	5.6	19.5	15.9	11.4	15.7
ふたり親(二世帯)	1.4	2.2	1.0	2.2	2.3	3.1	3.1	2.1	3.4	4.2	6.4	21.3	20.0	13.6	13.7
ふたり親(三世帯)	1.1	2.8	2.3	3.4	2.0	3.4	4.8	2.6	1.7	5.4	6.0	21.0	13.9	12.2	17.3
ひとり親(二世帯)	10.5	12.6	9.5	14.7	7.4	7.4	1.1	1.1	1.1	3.2	1.1	9.5	3.2	0.0	17.9
ひとり親(三世帯)	7.8	16.9	10.4	7.8	14.3	1.3	3.9	2.6	0.0	2.6	1.3	7.8	0.0	0.0	23.4

問 21 現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

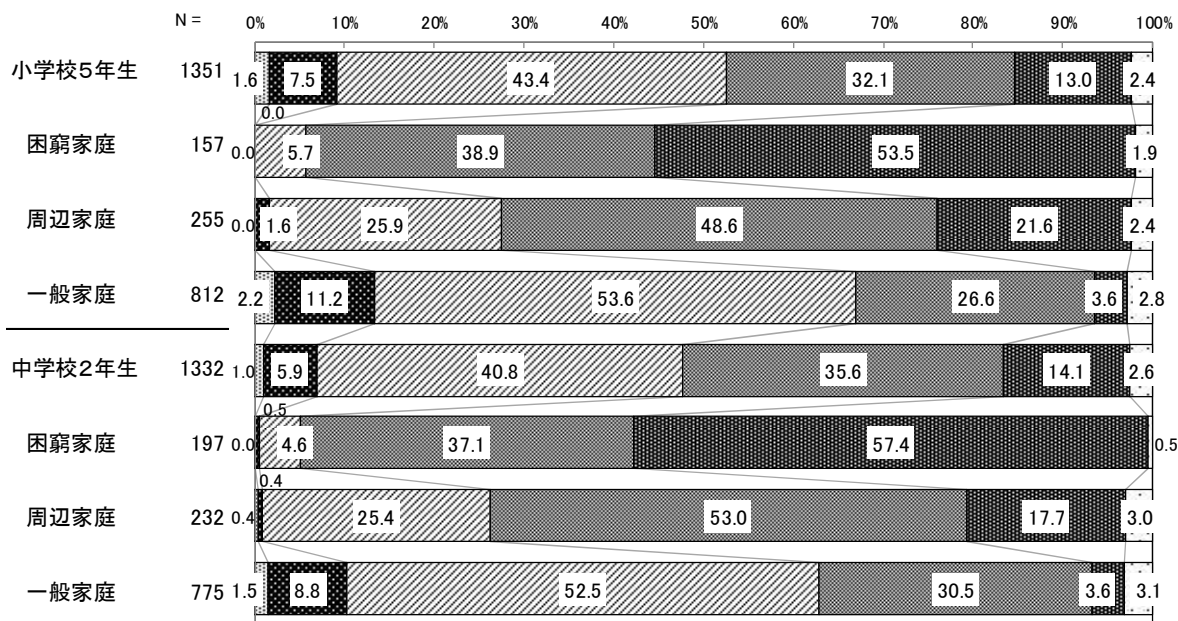
学年・生活困難度別では、各学年の困窮家庭で「大変苦しい」が55%前後、周辺家庭で「やや苦しい」が50%前後、一般家庭で「ふつう」が53%前後と多い。

学年・世帯別では、中学校2年生のひとり親（二世帯）で「大変苦しい」が33.7%と多く、小学校5年生のひとり親（二世帯）で「やや苦しい」が49.2%と多い。

保護者の最終学歴別では、高い層で「ふつう」が53.6%と多く、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」がそれぞれ13.8%、3.5%と他と比較すると多い。低い層で「大変苦しい」が31.7%と多い。

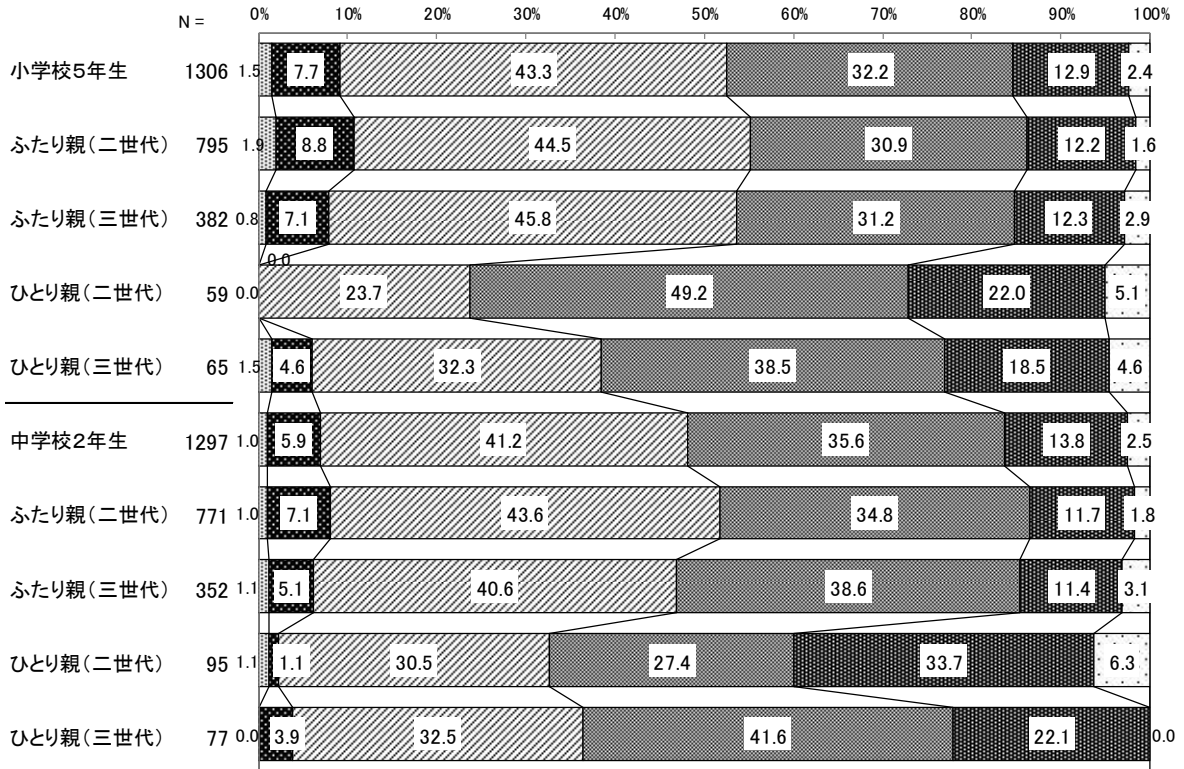
H問21 現在の暮らしの状況[%]

■ 大変ゆとりがある ■ ややゆとりがある ▨ ふつう ■ やや苦しい ■ 大変苦しい □ 無 回答



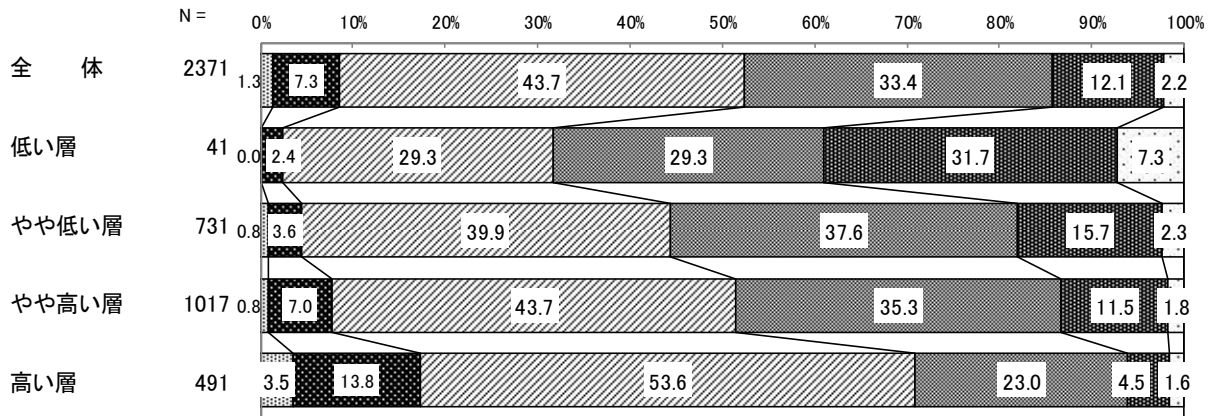
H問21 現在の暮らしの状況[%]

■ 大変ゆとりがある ■ ややゆとりがある ▨ ふつう ■ やや苦しい ■ 大変苦しい □ 無回答



H問 21 現在の暮らしの状況[%]×保護者の最終学歴別

■ 大変ゆとりがある ■ ややゆとりがある ▨ ふつう ■ やや苦しい ■ 大変苦しい □ 無回答

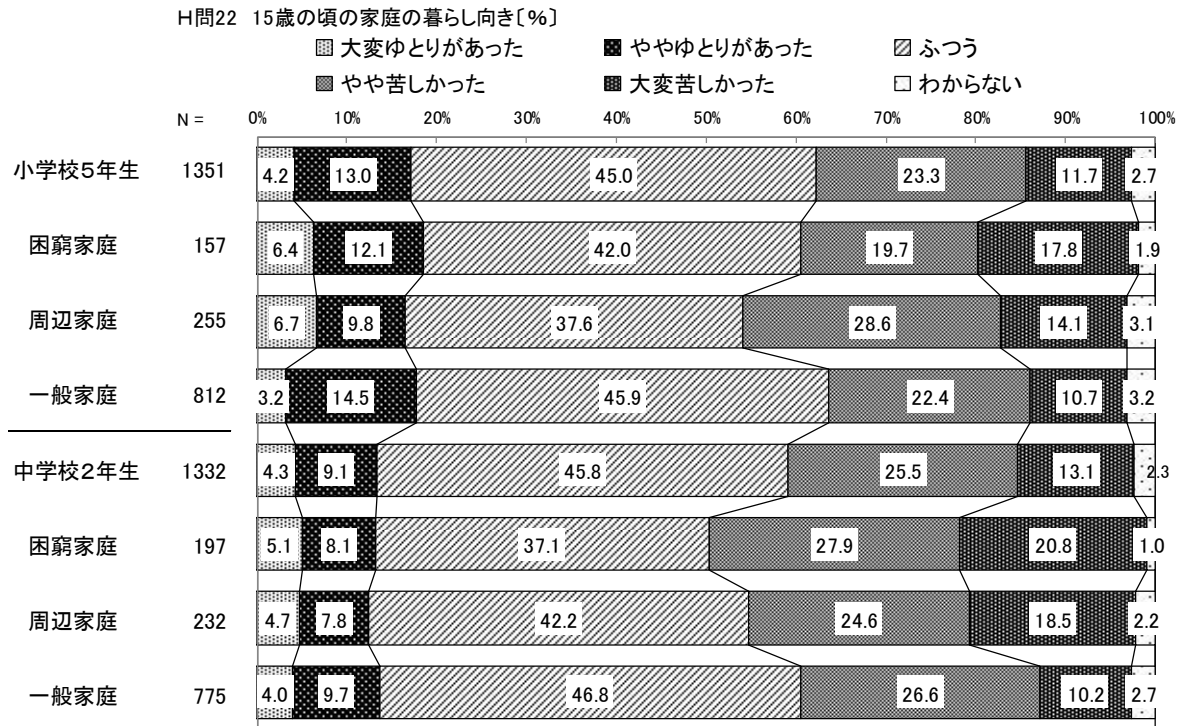


問 22 あなたが 15 歳の頃の、あなたのご家庭の暮らし向きについて、最も近いものに○をつけてください。

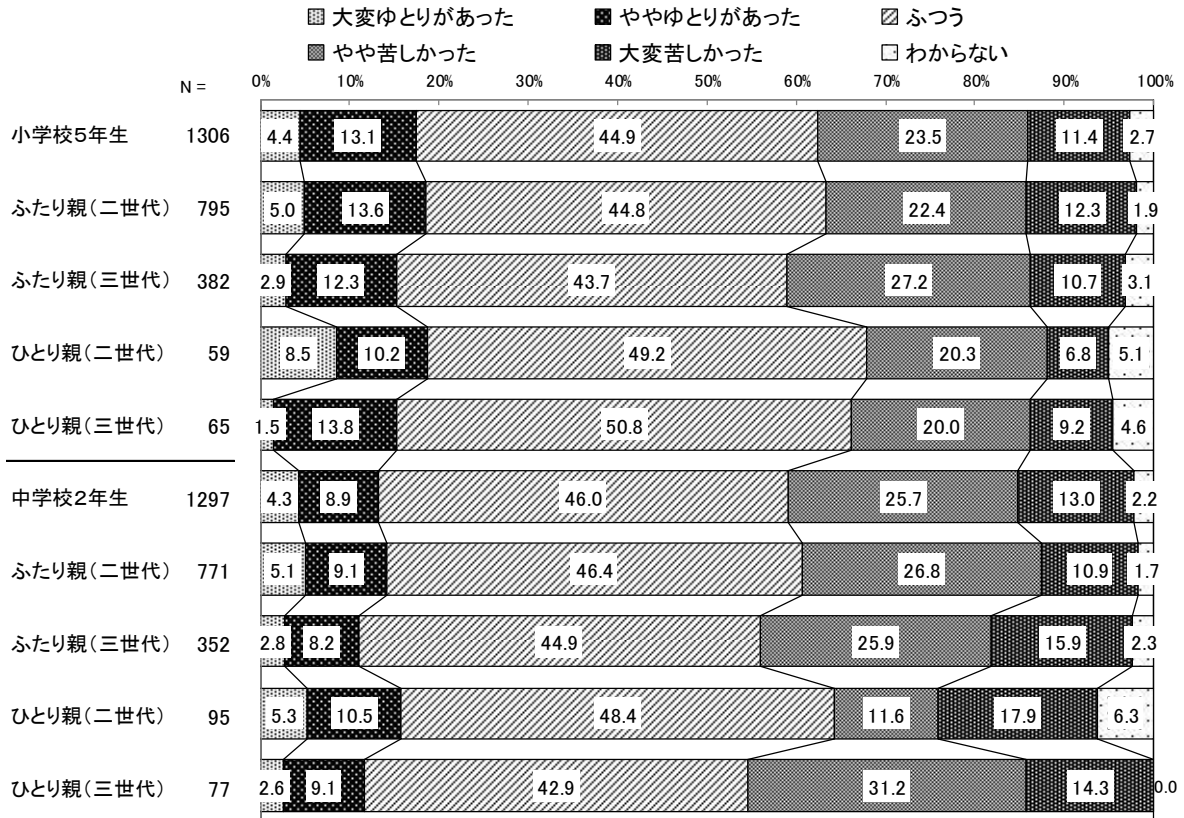
学年・生活困難度別では、「大変苦しかった」は小学校 5 年生の困窮家庭と中学校 2 年生の困窮家庭と周辺家庭で 20%前後と多い。

学年・世帯別では、保護者の最終学歴別では、低い層で「大変苦しかった」が 39.0%と多く、やや低い層の回答者で「やや苦しかった」が 30.4%と多い。

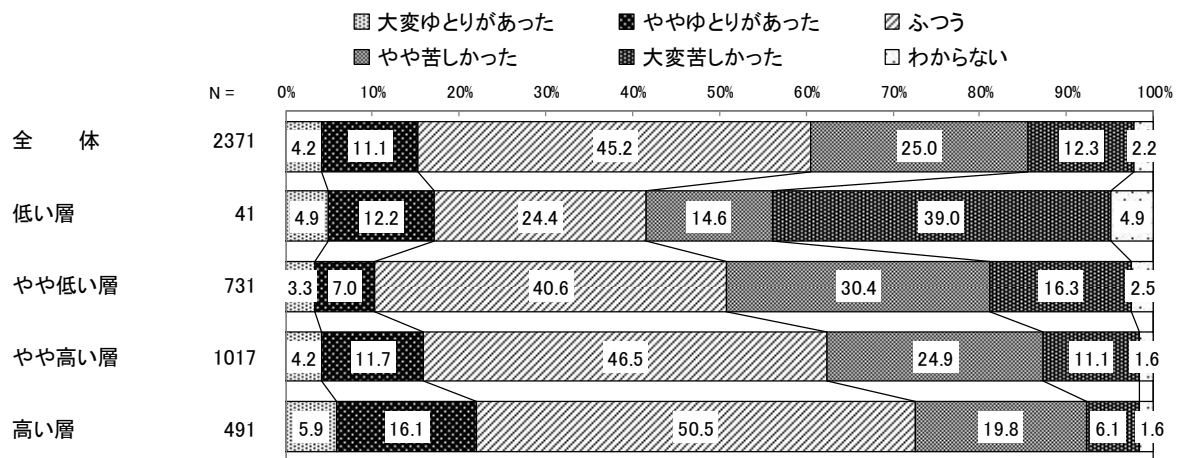
15 歳の頃の家庭の暮らし向き別について、「やや苦しかった」「大変苦しかった」と回答した者を生活困難度別でみると、生活困難度が高いほど「大変苦しかった」が多い。



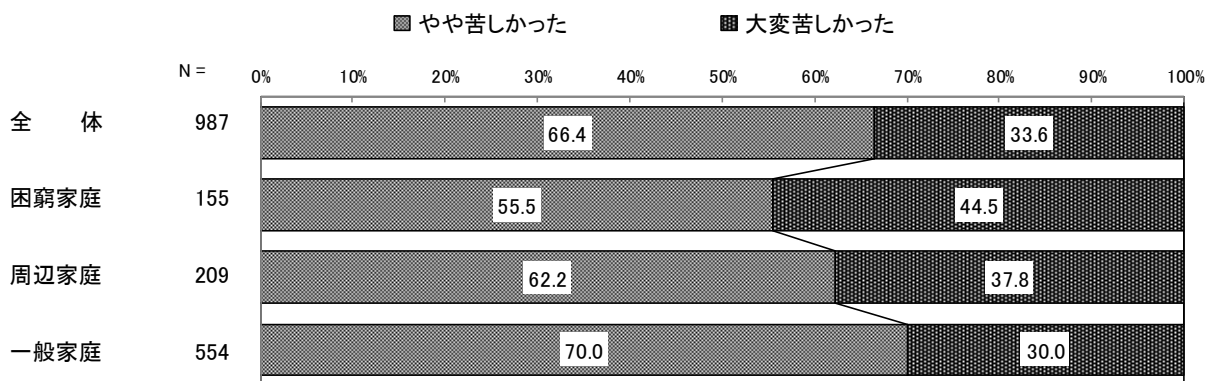
H問22 15歳の頃の家庭の暮らし向き[%]



H問22 15歳の頃の家庭の暮らし向き[%] × 保護者の最終学歴別



H問22 15歳の頃の家庭の暮らし向き[%] × 生活困難度別

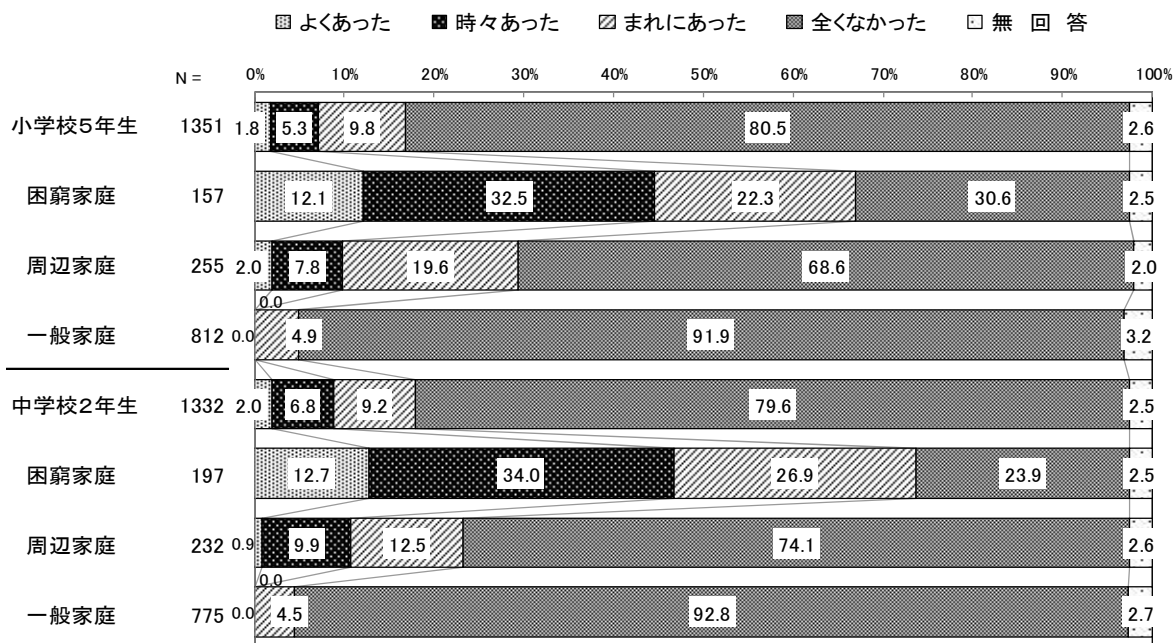


問23 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。

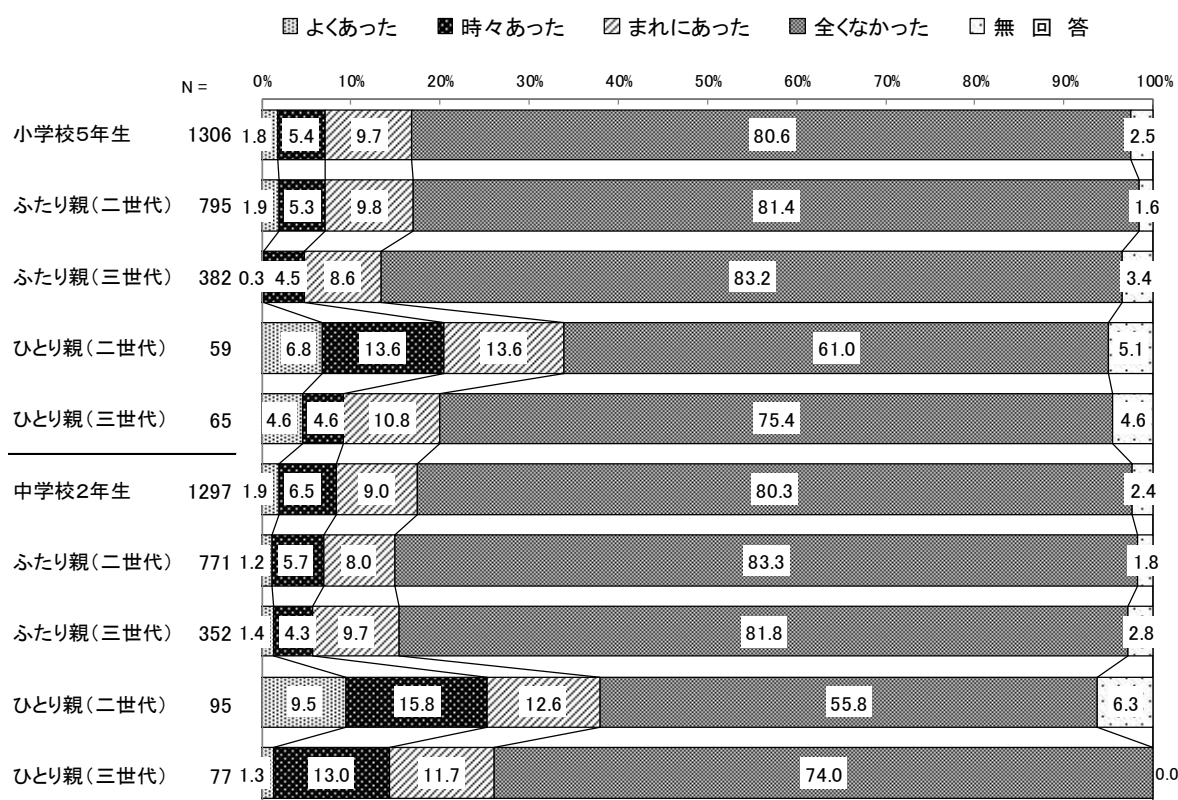
学年・生活困難度別では、各学年の困窮家庭で「全くなかった」がそれぞれ30.6%、23.9%と少なく、「時々あった」が33%前後、「まれにあった」が25%前後、「よくあった」が12%台と多い。小学校5年生の周辺家庭で「まれにあった」が19.6%と多い。

学年・世帯別では、小学校5年生のひとり親（二世帯）で「時々あった」と「よくあった」がともに13.6%と多く、中学校2年生のひとり親（二世帯）でも、「時々あった」が15.8%、「よくあった」が9.5%と多い。

H問23過去1年間にお金が足りずに食料を買えなかったこと[%]



H問23過去1年間にお金が足りずに食料を買えなかったこと[%]



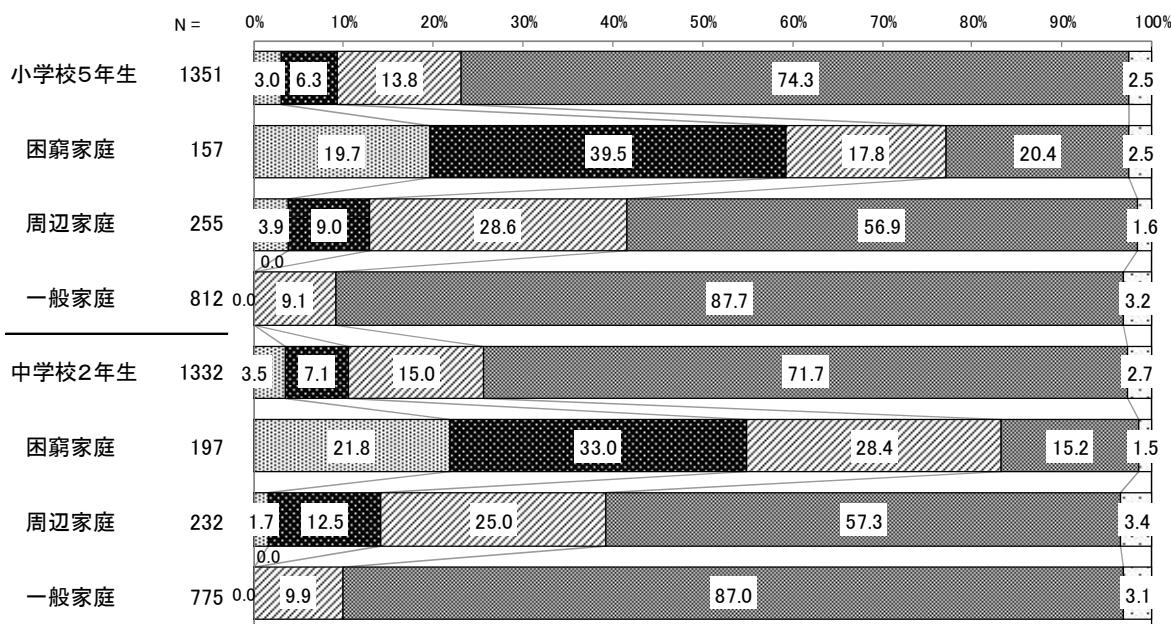
問24 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えないことがありましたか。

学年・生活困難度別では、「全くなかった」が困窮家庭の小学校5年生で20.4%、中学校2年生で15.2%と少なく、「時々あった」が39.5%、33.0%、「まれにあった」が17.8%、28.4%、「よくあった」が20%前後と多い。各学年の周辺家庭で「まれにあった」がともに25%を超えて多い。

学年・世帯別では、各学年のひとり親（二世帯）で「まれにあった」がそれぞれ20.3%、26.3%、「よくあった」が8.5%、14.7%と多い。

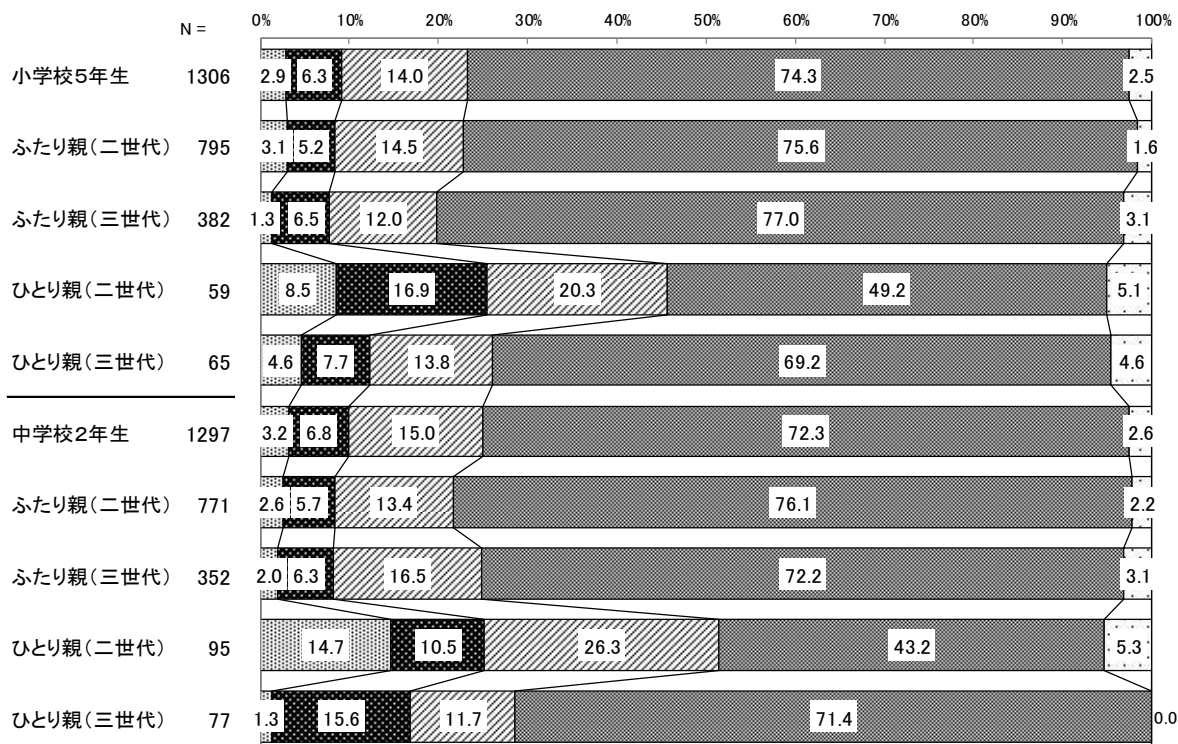
H問24過去1年間にお金が足りずに衣類を買えなかったこと[%]

よくあった 時々あった まれにあった 全くなかった 無回答



H問24過去1年間にお金が足りずに衣類を買えなかったこと[%]

よくあった 時々あった まれにあった 全くなかった 無回答



問 25 過去1年の間に、経済的な理由で、以下のA～Eのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。

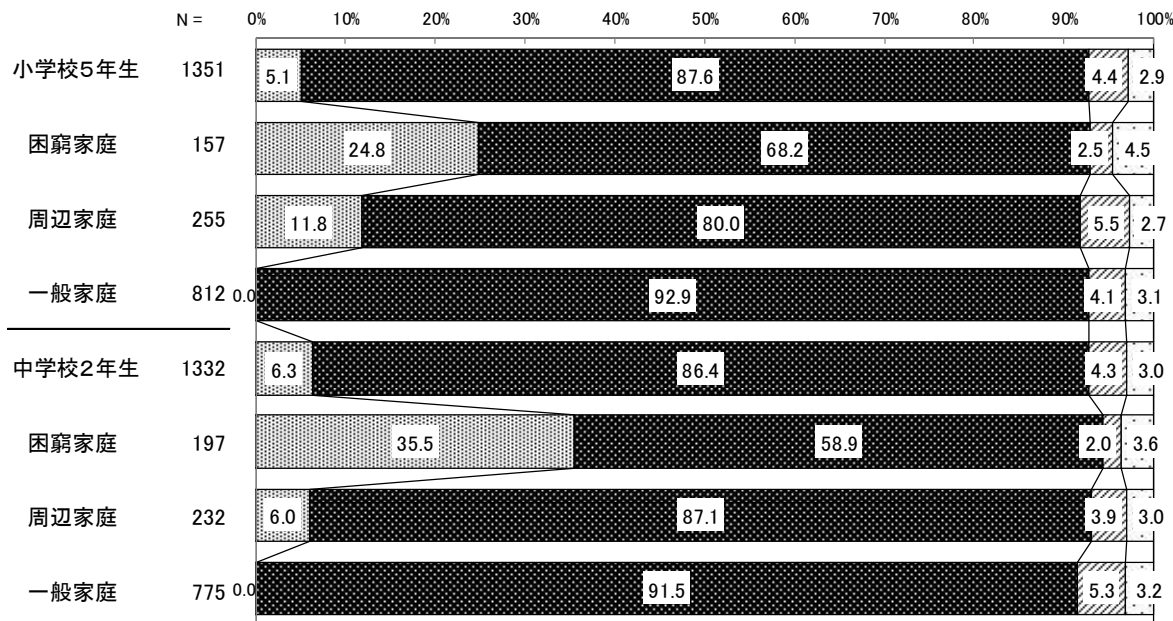
A 電話料金

学年・生活困難度別では、各学年の困窮家庭で「あった」が24.8%、35.5%と多い。

学年・世帯別では、「あった」は各学年のひとり親（二世帯）とひとり親（三世帯）でともに10%を超えて多い。

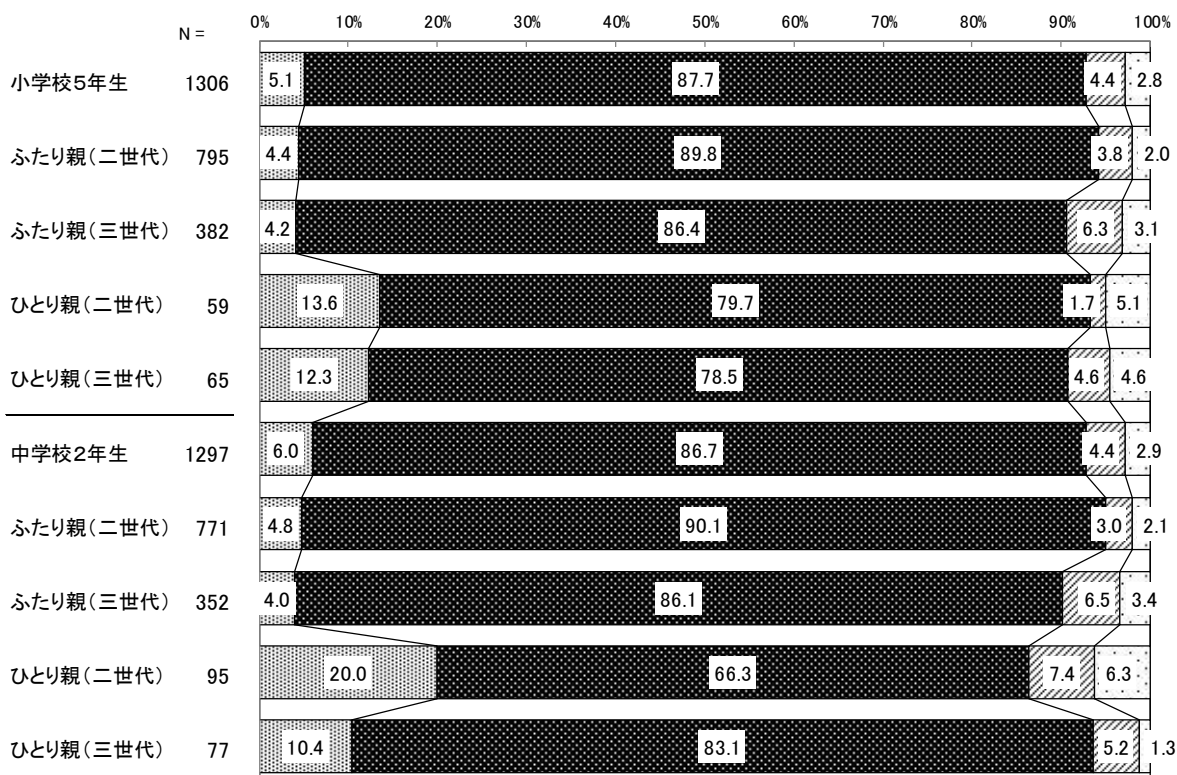
H問25 過去1年間に支払えなかったことA電話料金[%]

■ あった ■ なかった ▨ 該当しない(払う必要がない) □ 無回答



H問25 過去1年間に支払えなかったことA電話料金[%]

■ あった ■ なかった ▨ 該当しない(払う必要がない) □ 無回答



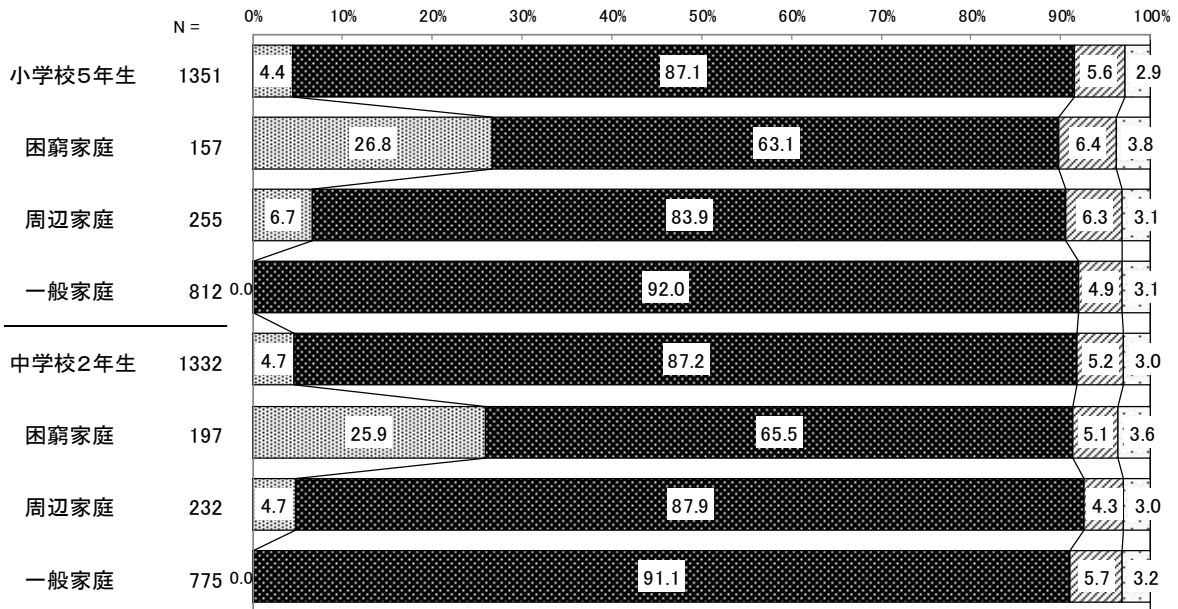
B 電気料金

学年・生活困難度別では、各学年の困窮家庭で「あった」が26%前後と多い。

学年・世帯別では、各学年のひとり親（二世帯）で「あった」がともに13%台と多い。

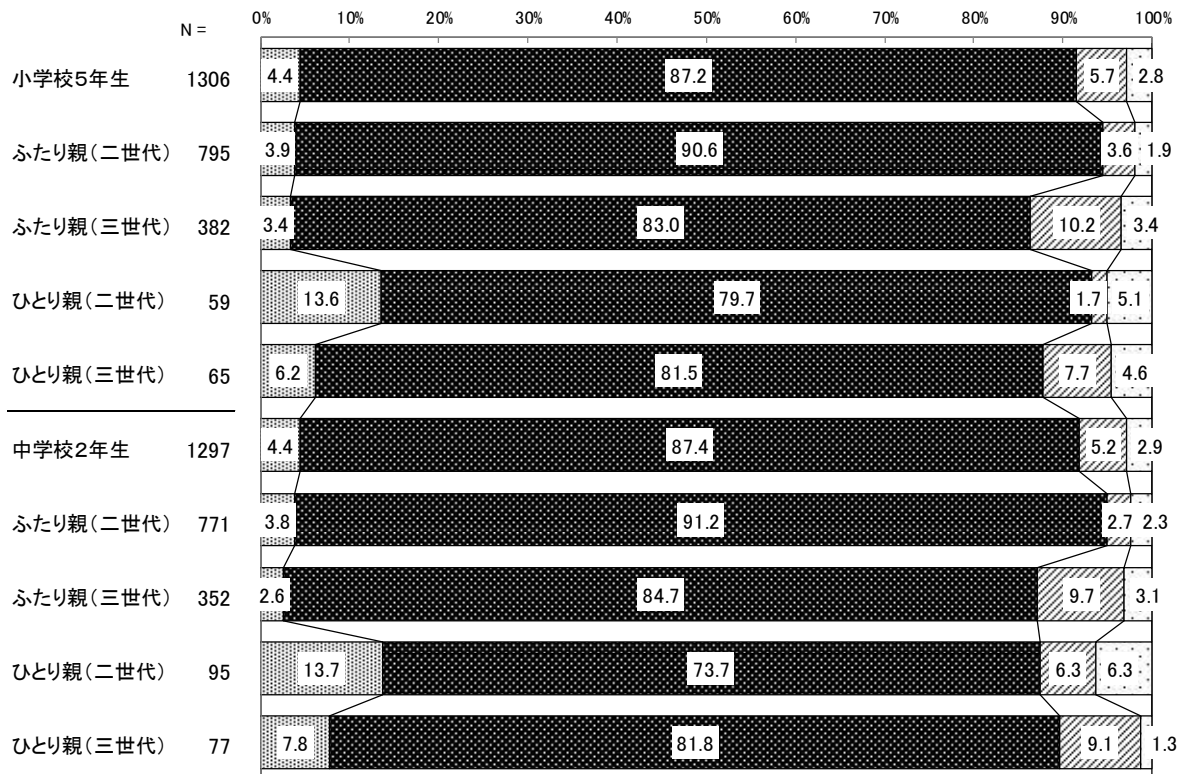
H問25 過去1年間に支払えなかったことB電気料金[%]

■ あった ■ なかった ▨ 該当しない(払う必要がない) □ 無回答



H問25 過去1年間に支払えなかったことB電気料金[%]

■ あった ■ なかった ▨ 該当しない(払う必要がない) □ 無回答

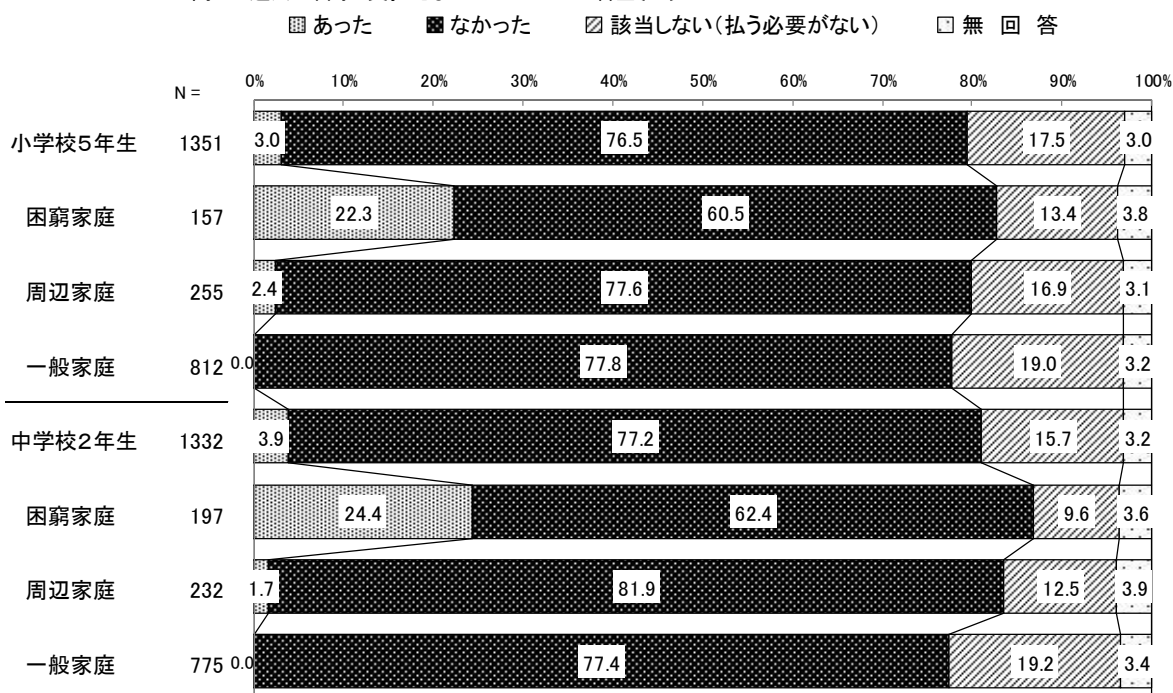


C ガス料金

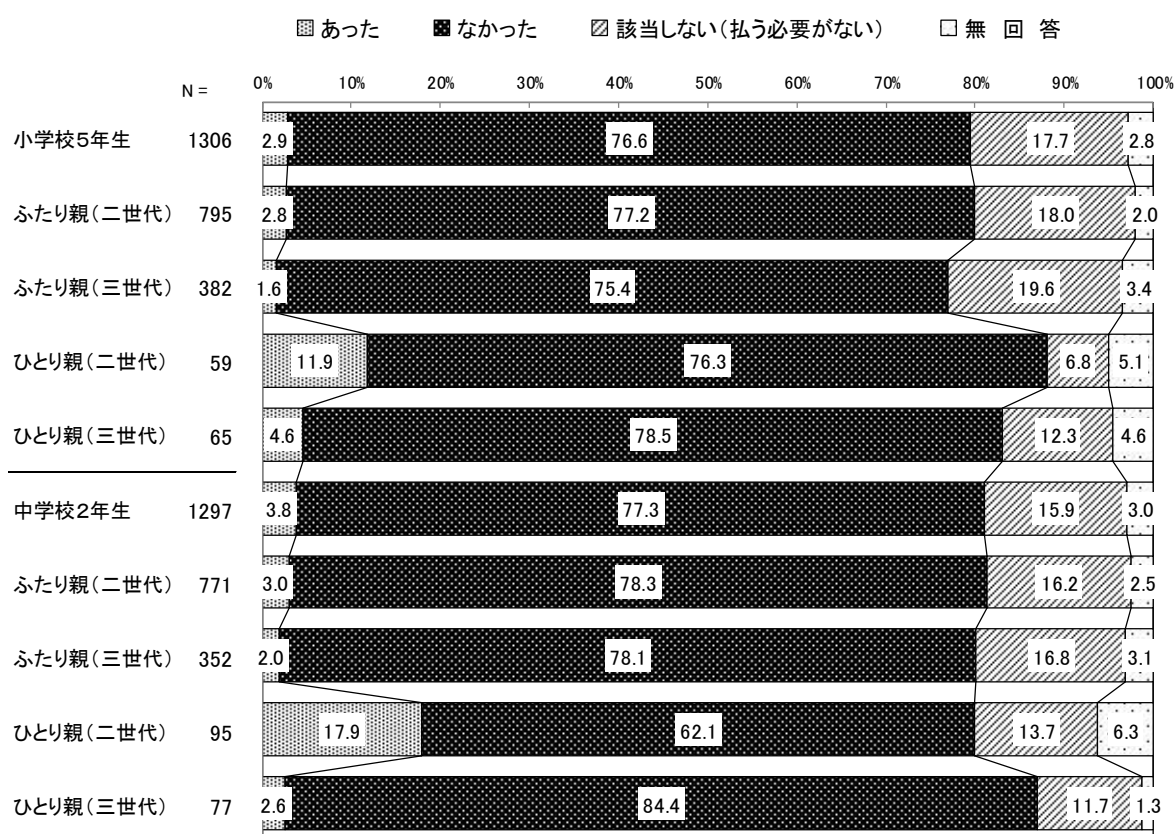
学年・生活困難度別では、各学年の困窮家庭で「あった」が23%前後と多い。

学年世帯別では、各学年のひとり親（二世帯）で「あった」がともに10%を超えて多い。

H問25 過去1年間に支払えなかったことCガス料金[%]



H問25 過去1年間に支払えなかったことCガス料金[%]

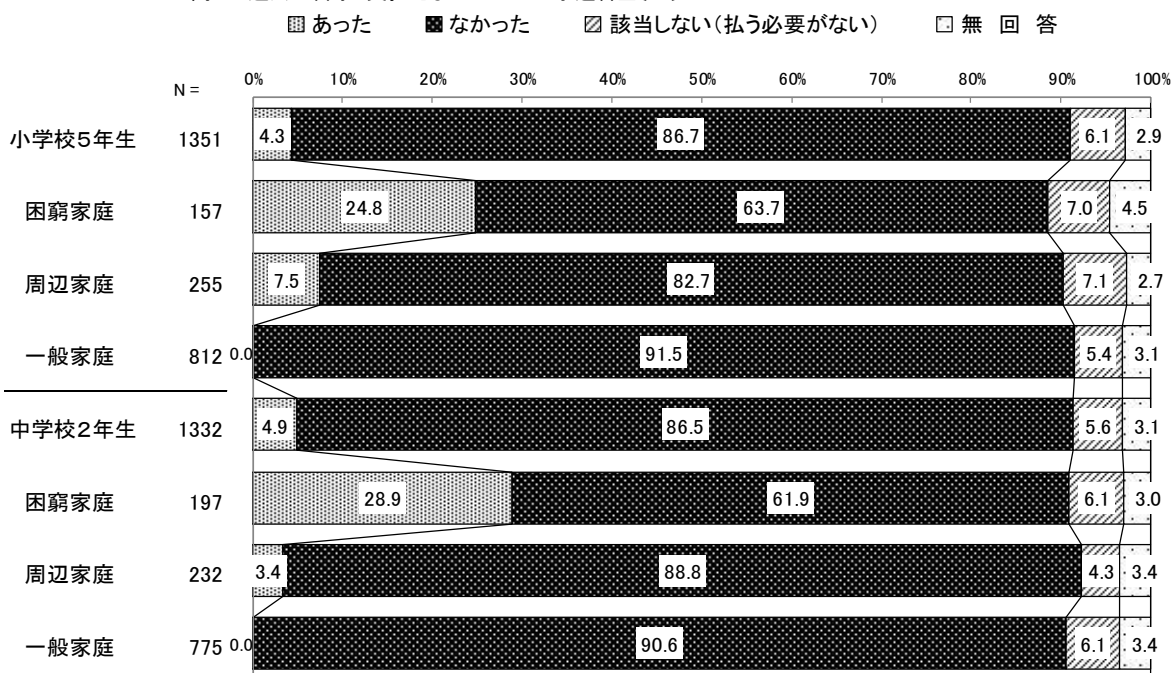


D 水道料金

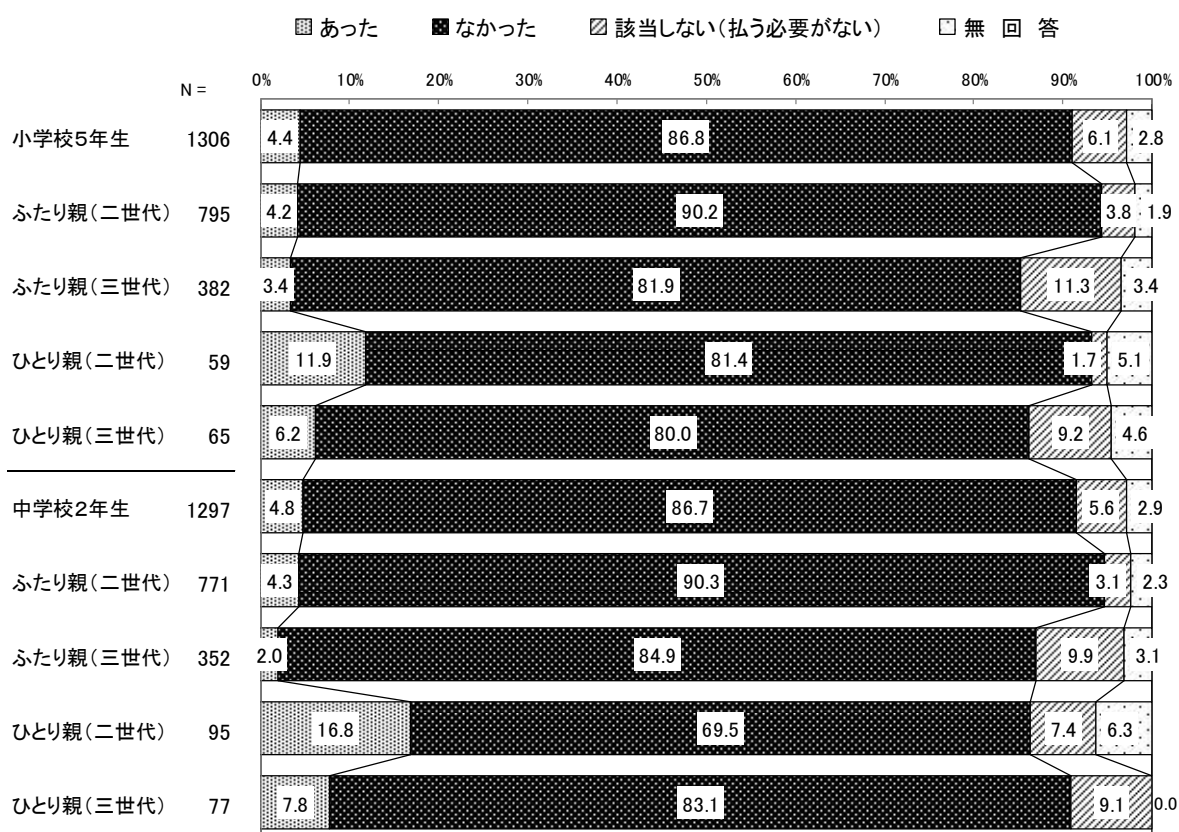
学年・生活困難度別では、各学年の困窮家庭で「あった」が25%前後と多い。

学年・世帯別では、各学年のひとり親（二世帯）で「あった」がともに10%を超えて多い。

H問25 過去1年間に支払えなかったことD水道料金[%]



H問25 過去1年間に支払えなかったことD水道料金[%]



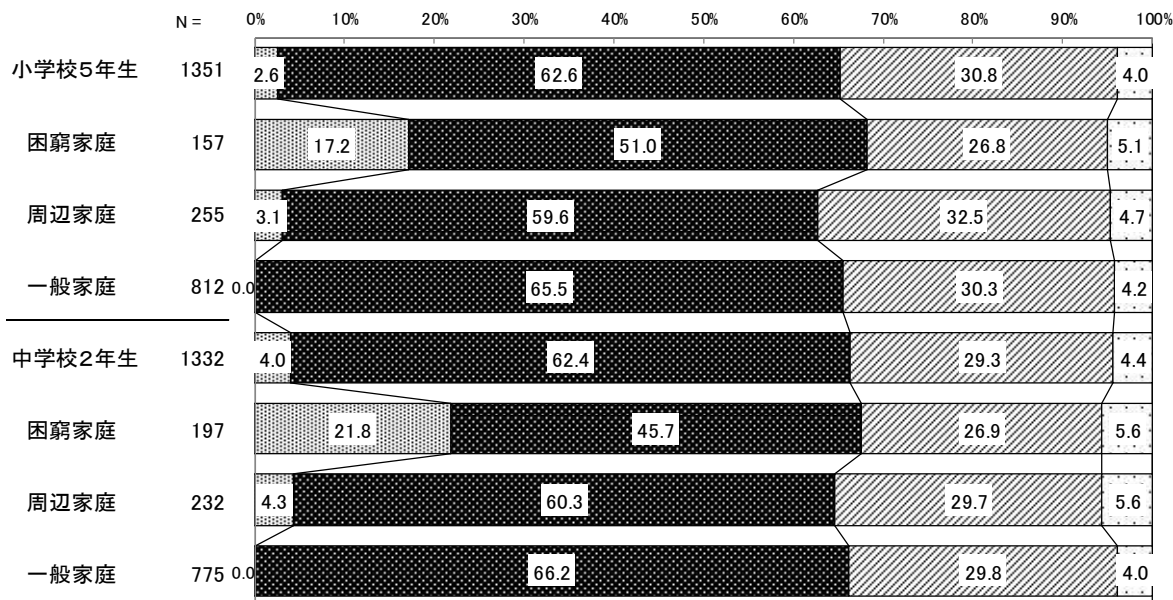
E 家賃

学年・生活困難度別では、各学年の困窮家庭で「あった」が20%前後と多い。

学年・世帯別では、各学年のひとり親（二世帯）で「あった」が15%前後と多い。

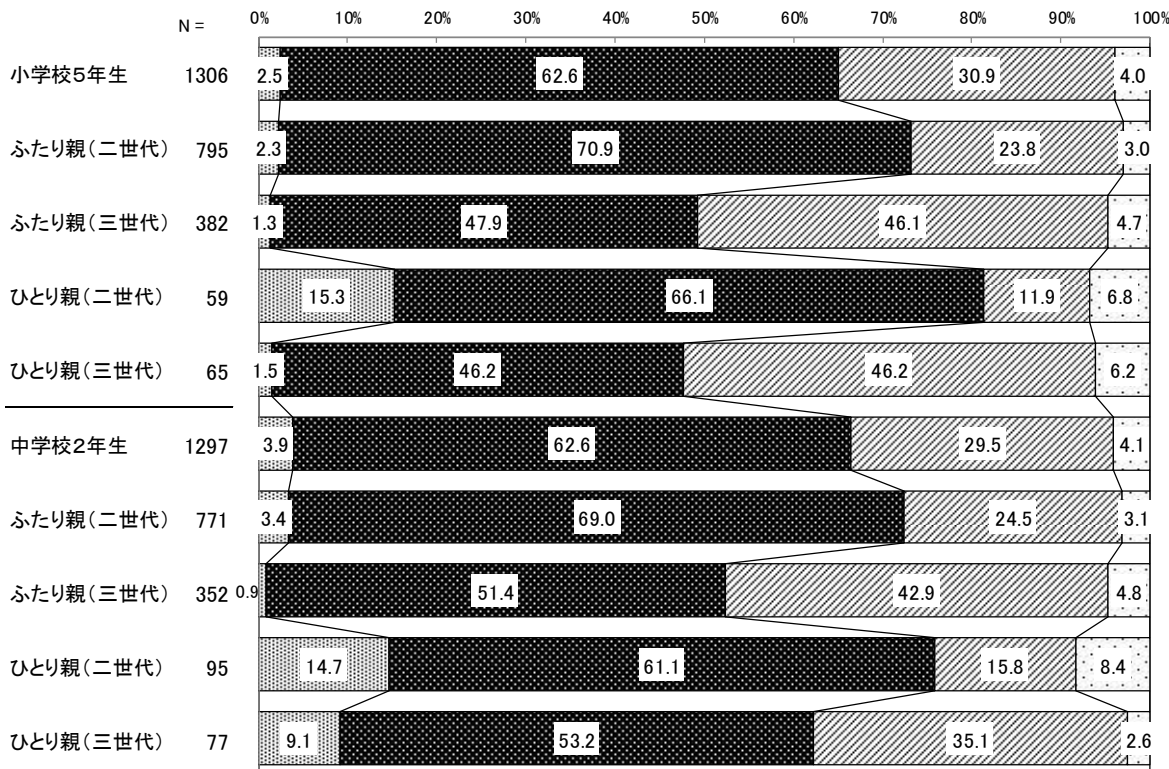
H問25 過去1年間に支払えなかったことE家賃[%]

■ あった ■ なかった ▨ 該当しない(払う必要がない) □ 無回答



H問25 過去1年間に支払えなかったことE家賃[%]

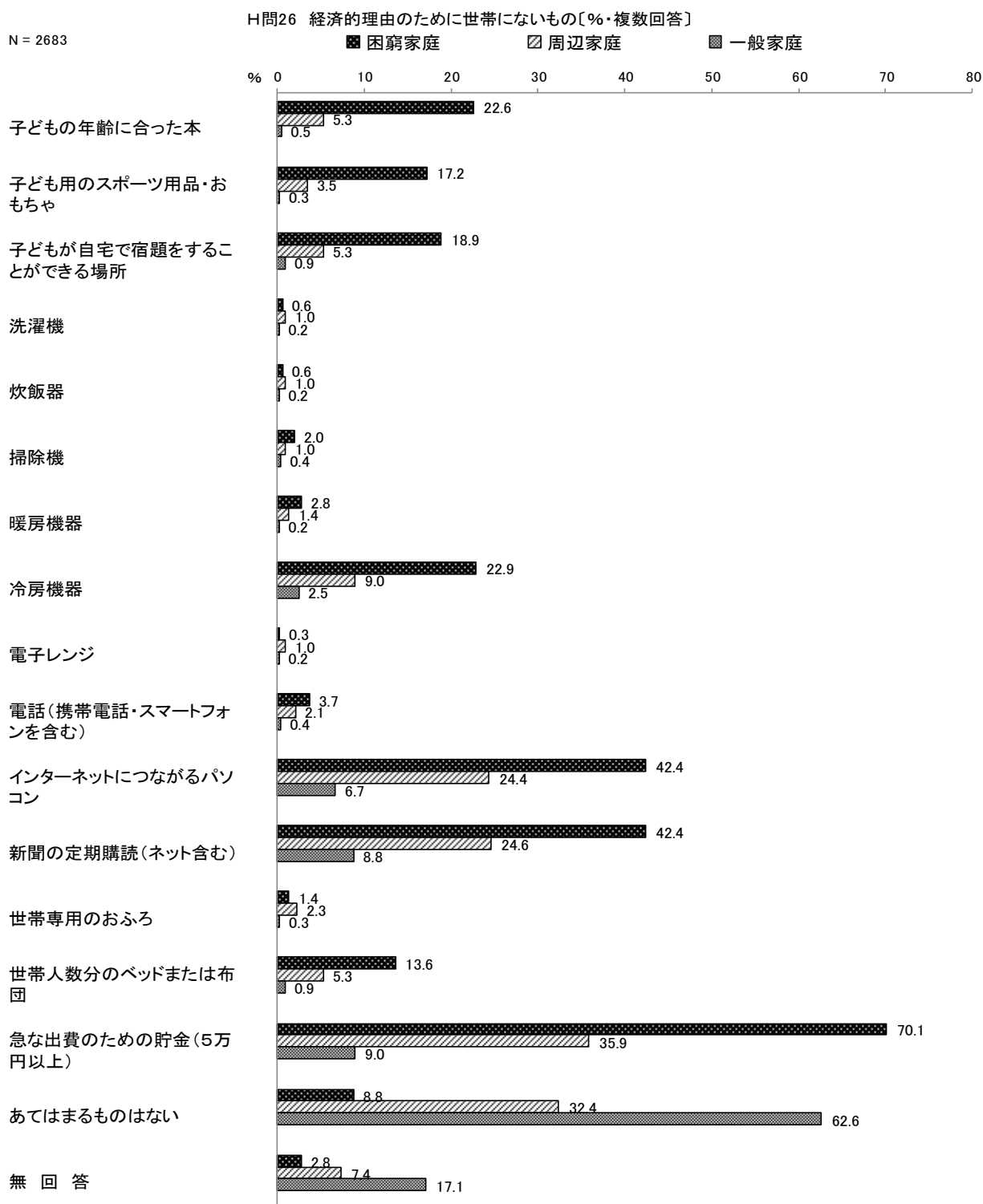
■ あった ■ なかった ▨ 該当しない(払う必要がない) □ 無回答



問 26 次のもののうち、経済的理由のために、あなたの世帯にないものがありますか。

生活困難度別では、困窮家庭で「急な出費のための貯金（5万円以上）」が70.1%と特に多く、「インターネットにつながるパソコン」、「新聞の定期購読（ネット含む）」がともに42.4%で続き、「冷房機器」が22.9%、「子どもの年齢に合った本」が22.6%、「子どもが自宅で宿題をすることができる場所」が18.9%となっている。一般家庭は「あてはまるものはない」が62.6%と多い。

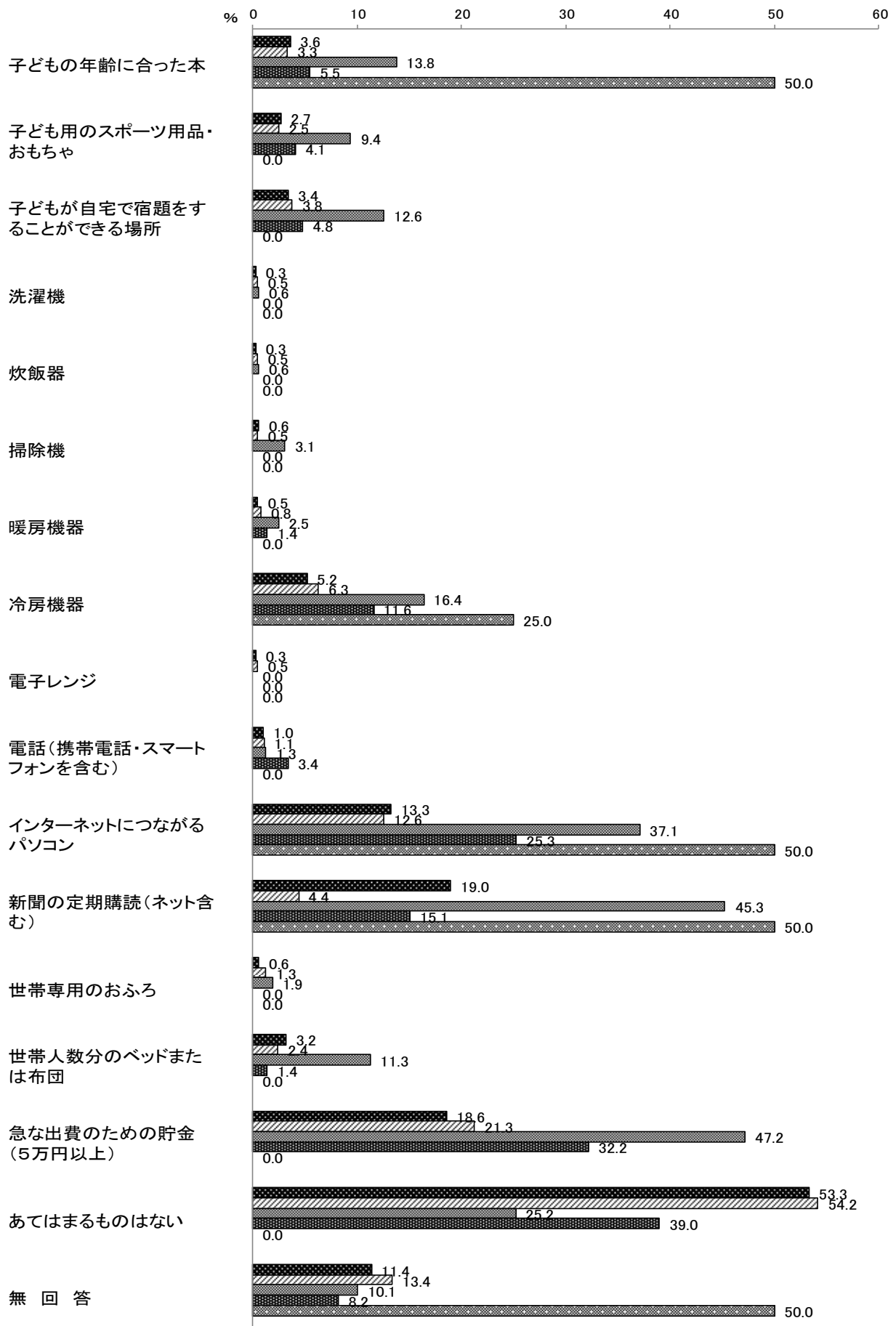
世帯別では、ひとり親（二世帯）で「急な出費のための貯金（5万円以上）」が47.2%と多く、「新聞の定期購読（ネット含む）」が45.3%、「インターネットにつながるパソコン」が37.1%、「冷房機器」が16.4%となっている。



N = 2683

H問26 経済的理由のために世帯にないもの[%・複数回答]

■ ふたり親(二世帯) ▨ ふたり親(三世帯) ■ ひとり親(二世帯)
 ■ ひとり親(三世帯) ■ その他



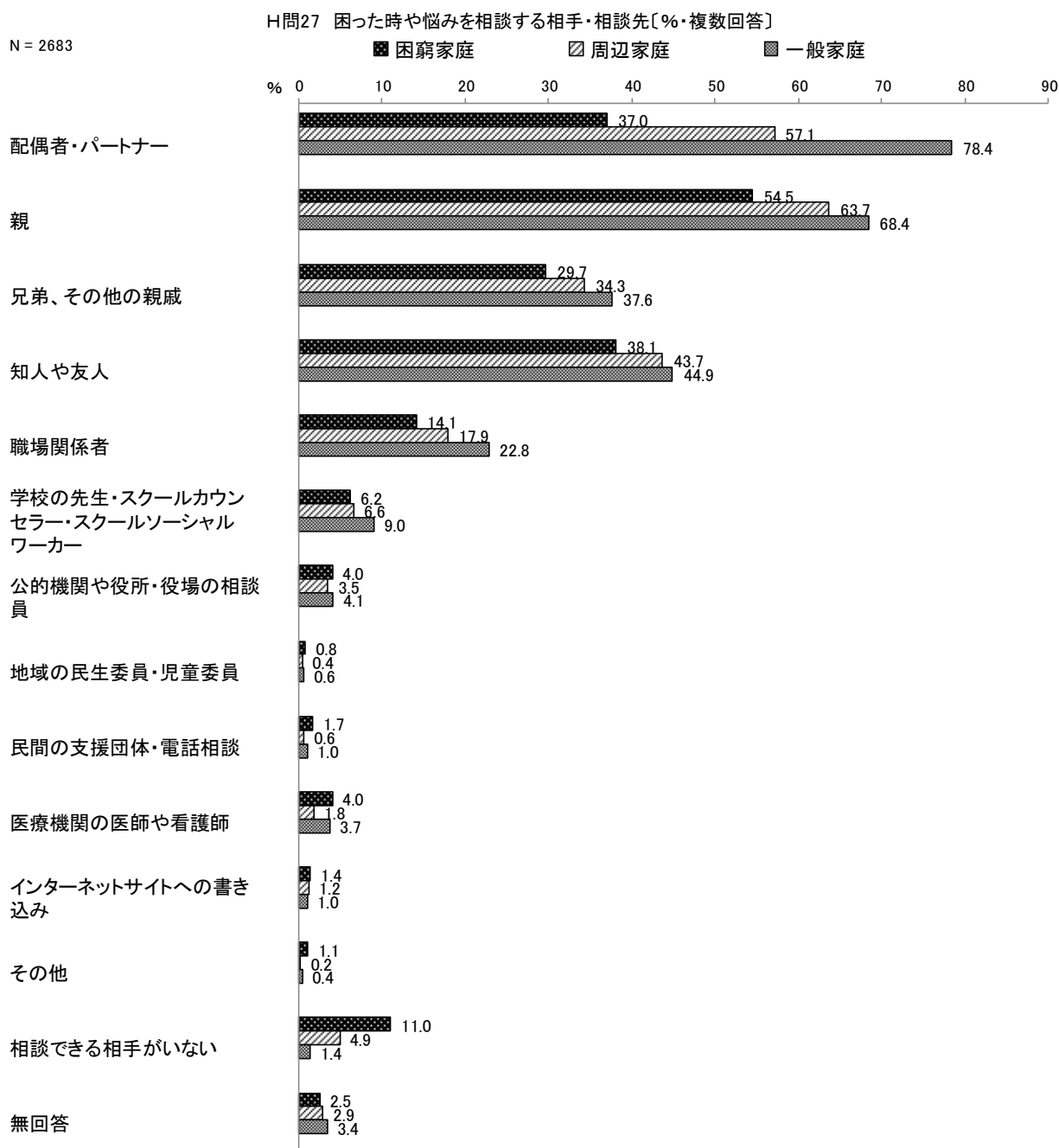
(7) 教育・子育て支援に関すること

問27 あなたが本当に困った時や悩みがある時に、相談する相手や相談先はどこですか。

生活困難度別では、一般家庭で「配偶者・パートナー」が78.4%、「親」が68.4%と多く、周辺家庭・困窮家庭は少ない。困窮家庭では「相談できる相手がない」が11.0%みられ、「知人や友人」「兄弟、その他の親戚」「職場関係者」の回答も少ない。

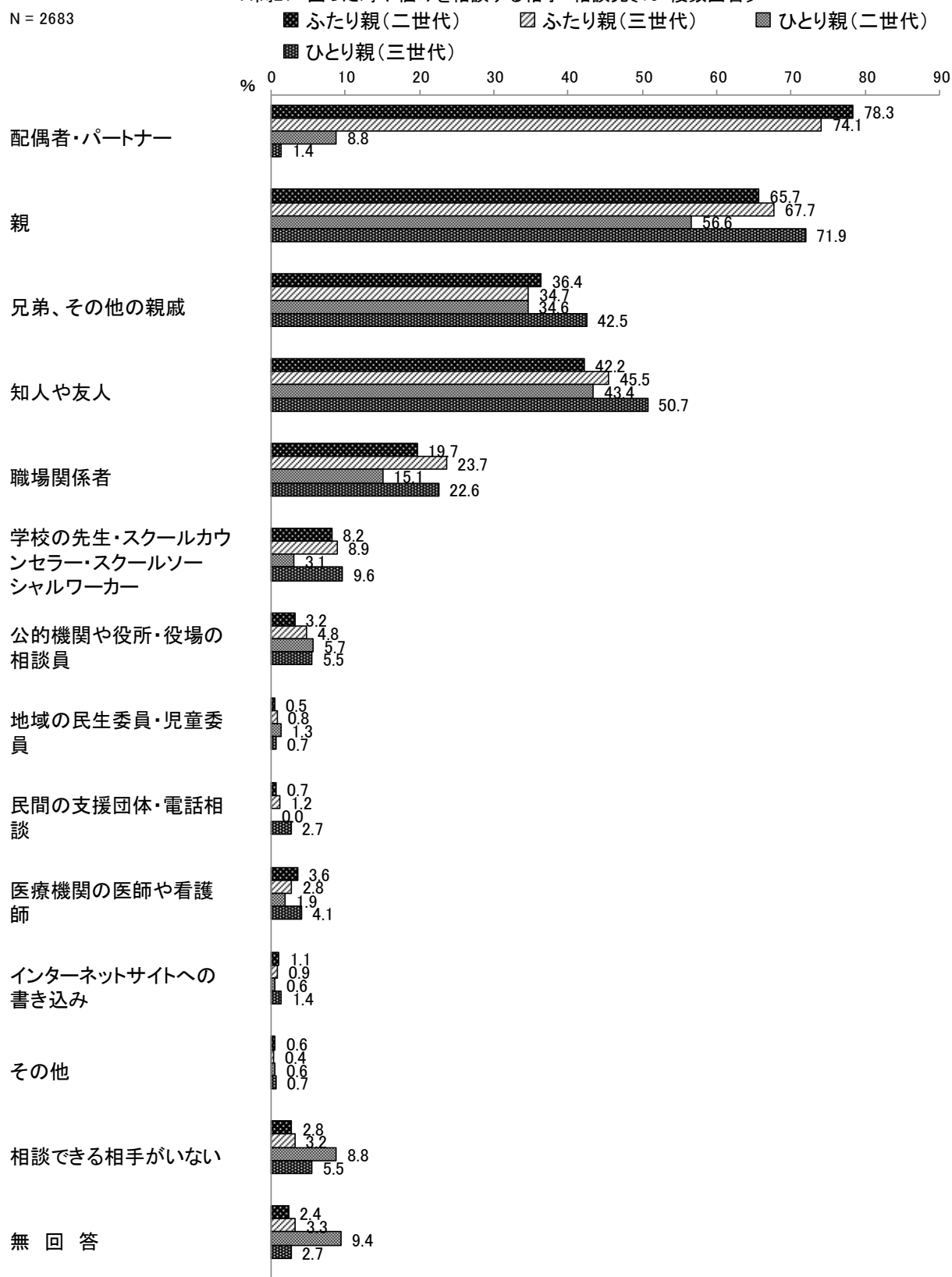
世帯別では、ふたり親（二世帯）とふたり親（三世帯）は「配偶者・パートナー」がともに75%前後と多く、ひとり親（三世帯）で「親」が71.9%、「兄弟、その他の親戚」が42.5%と多い。ひとり親（二世帯）は「相談できる相手がない」が8.8%と多い。

市部・町村部別では、相談先で市部と町村部での差はみられないが、「学校の先生・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー」と「公的機関や役所・役場の相談員」は町村部が若干多い。



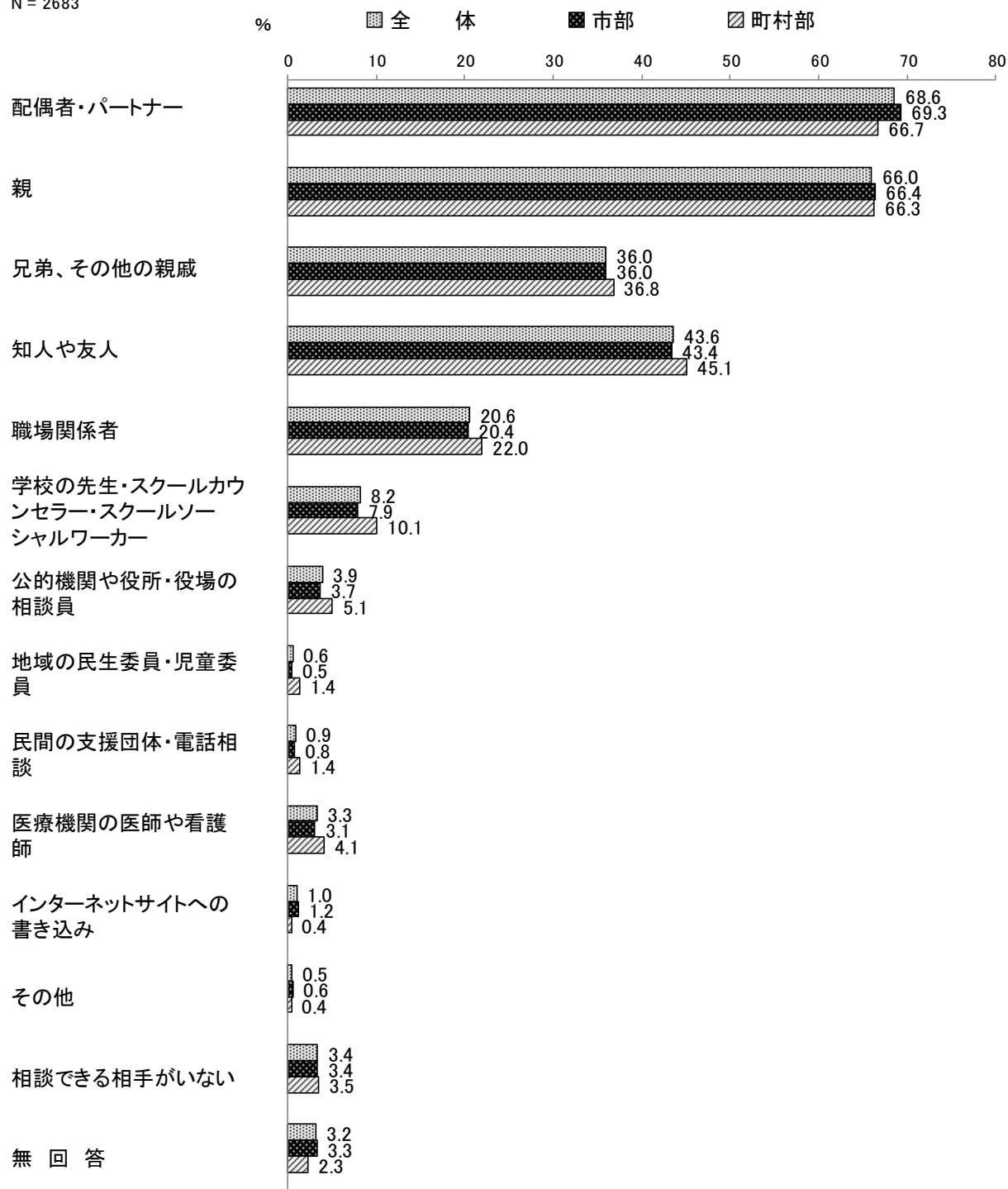
H問27 困った時や悩みを相談する相手・相談先[%・複数回答]

N = 2683



H問 27 困った時や悩みを相談する相手[%・複数回答]×H問1 居住市部・町村部別

N = 2683



頼れる人の有無別では、頼れる人がいない世帯は相談先の回答も少なく、特に「親」は34.6%、「兄弟、その他の親戚」は22.0%と少なく、「相談できる人はいない」が12.2%となっている。

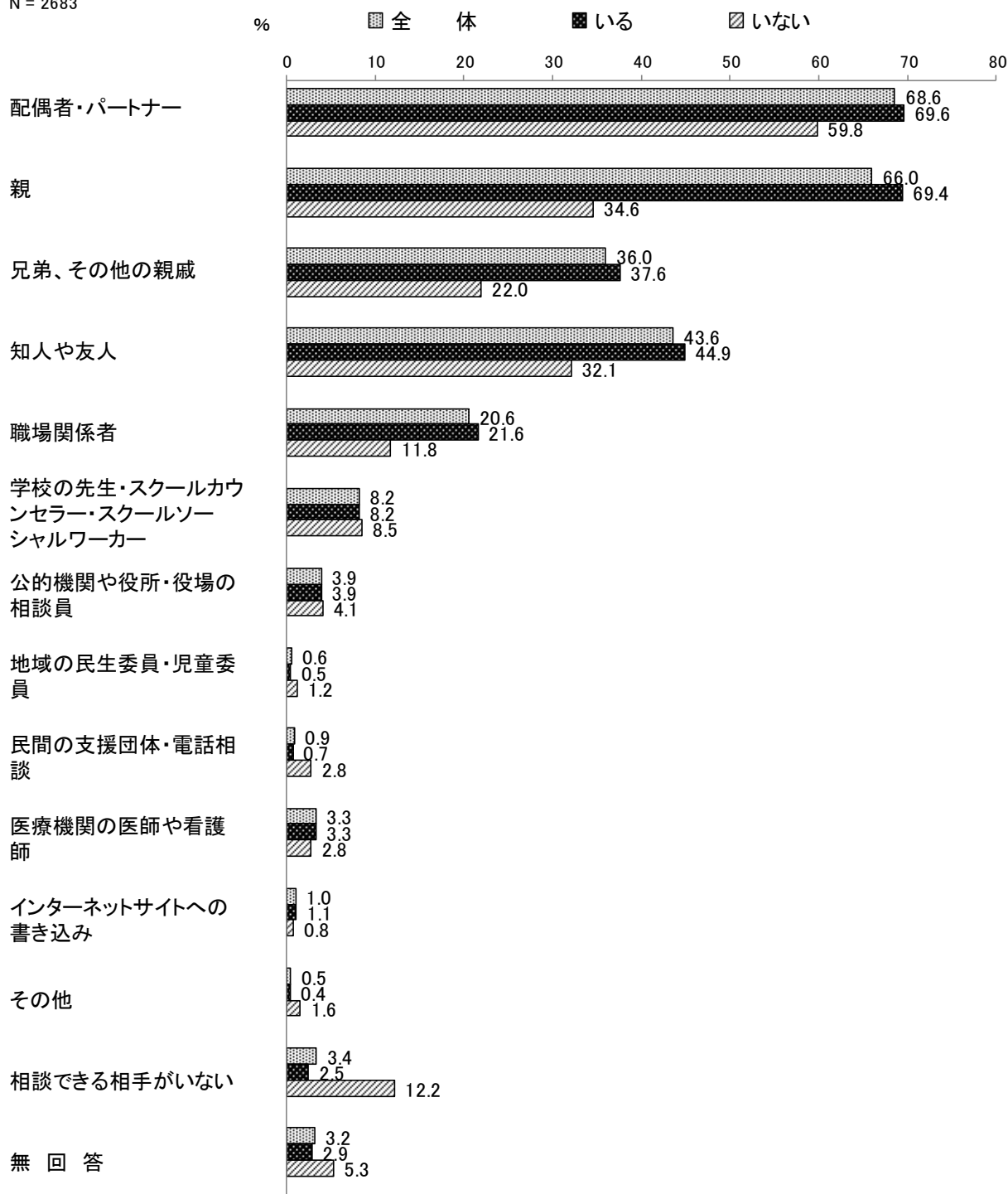
地域活動の参加状況別では、参加頻度の高い回答者は相談先も回答が多いが、全く参加しない回答者では「配偶者」「親」が60%前後と少ない。

H問 27

H問 6

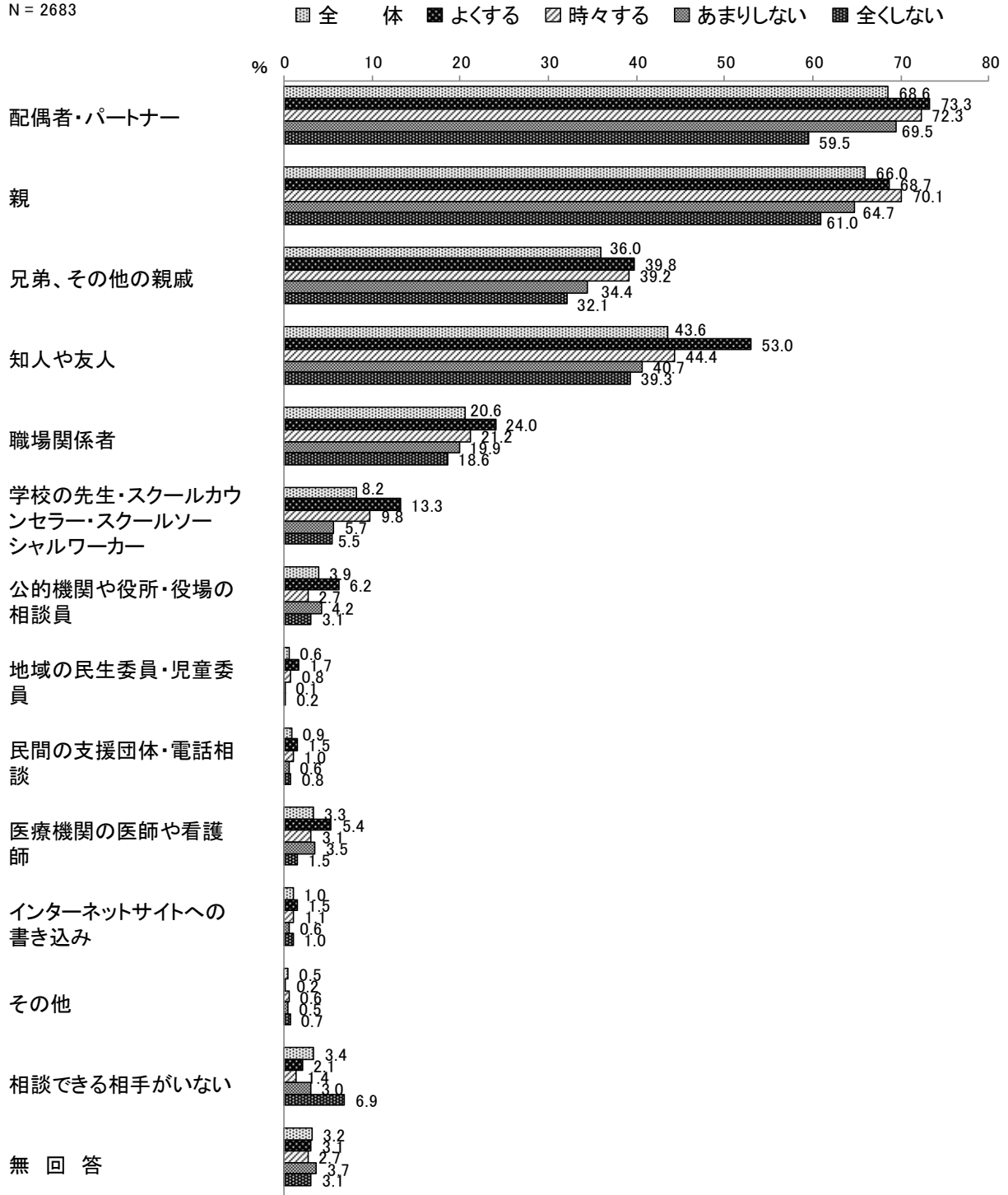
困った時や悩みを相談する相手[%・複数回答]×子どもの病気の時や用事の時等に頼れる親族や友人[%]

N = 2683



H問 27 困った時や悩みを相談する相手[%・複数回答]×地域活動の参加頻度別

N = 2683



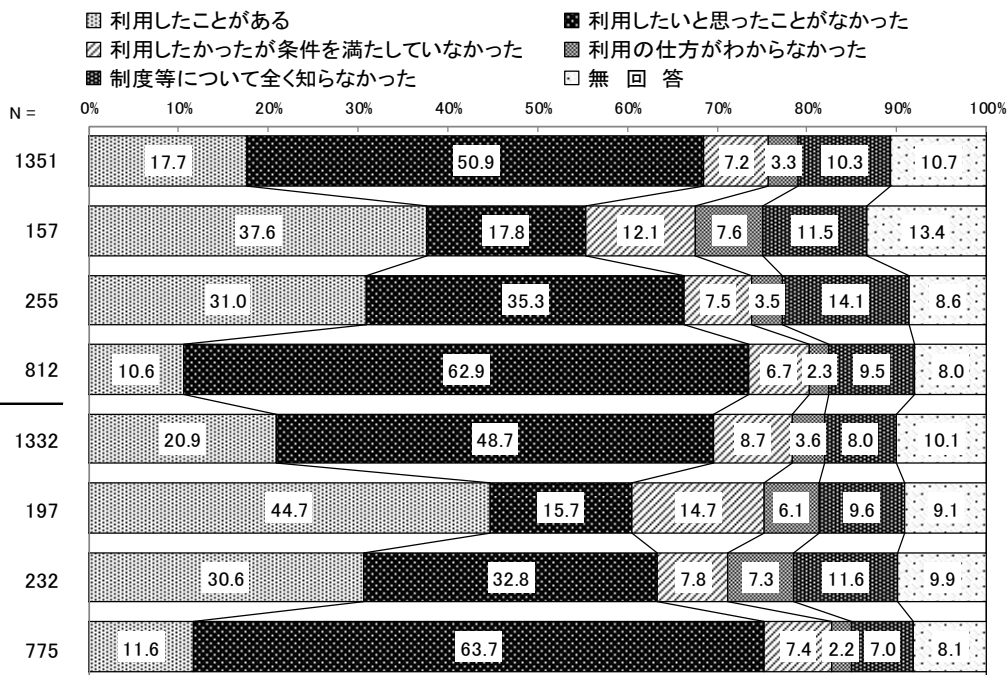
問 28 次のA～Eの支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。

A 児童扶養手当

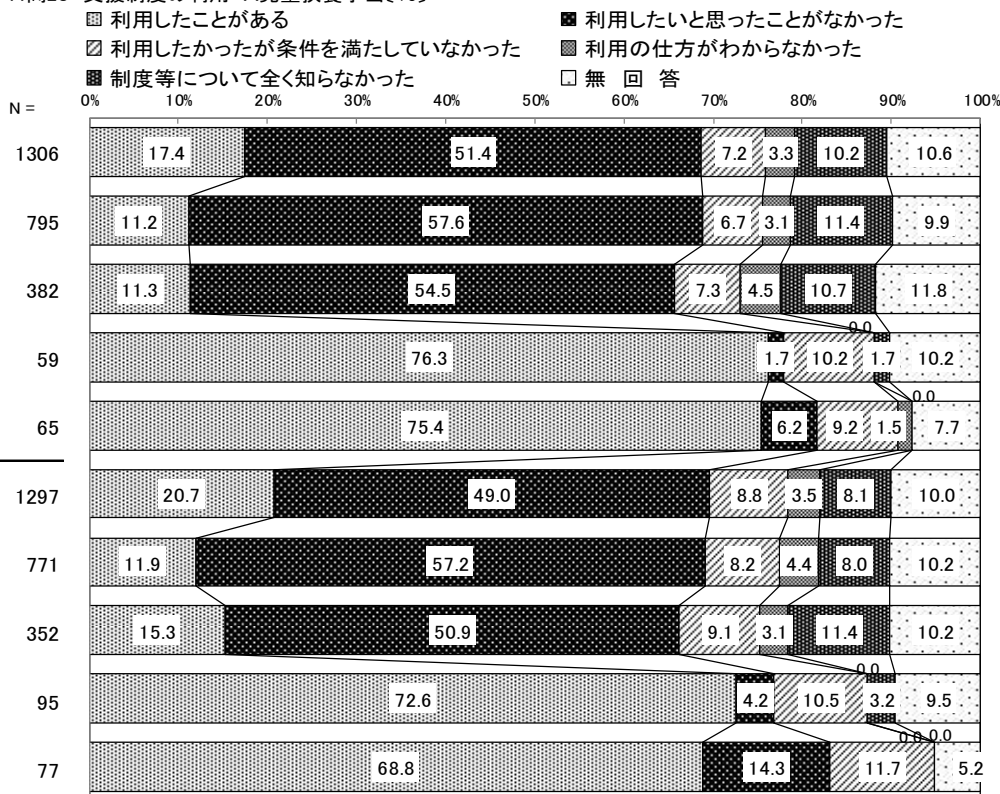
学年・生活困難度別では、「利用したことがある」は小学校5年生の困窮家庭と周辺家庭で35%前後と多く、中学校2年生の困窮家庭は44.7%、周辺家庭は30.6%と多い。

学年・世帯別では、「利用したことがある」は小学校5年生のひとり親（二世帯）とひとり親（三世帯）で76%前後と多く、中学校2年生のひとり親（二世帯）とひとり親（三世帯）で70%前後と多い。

H問28 支援制度の利用 A児童扶養手当[%]



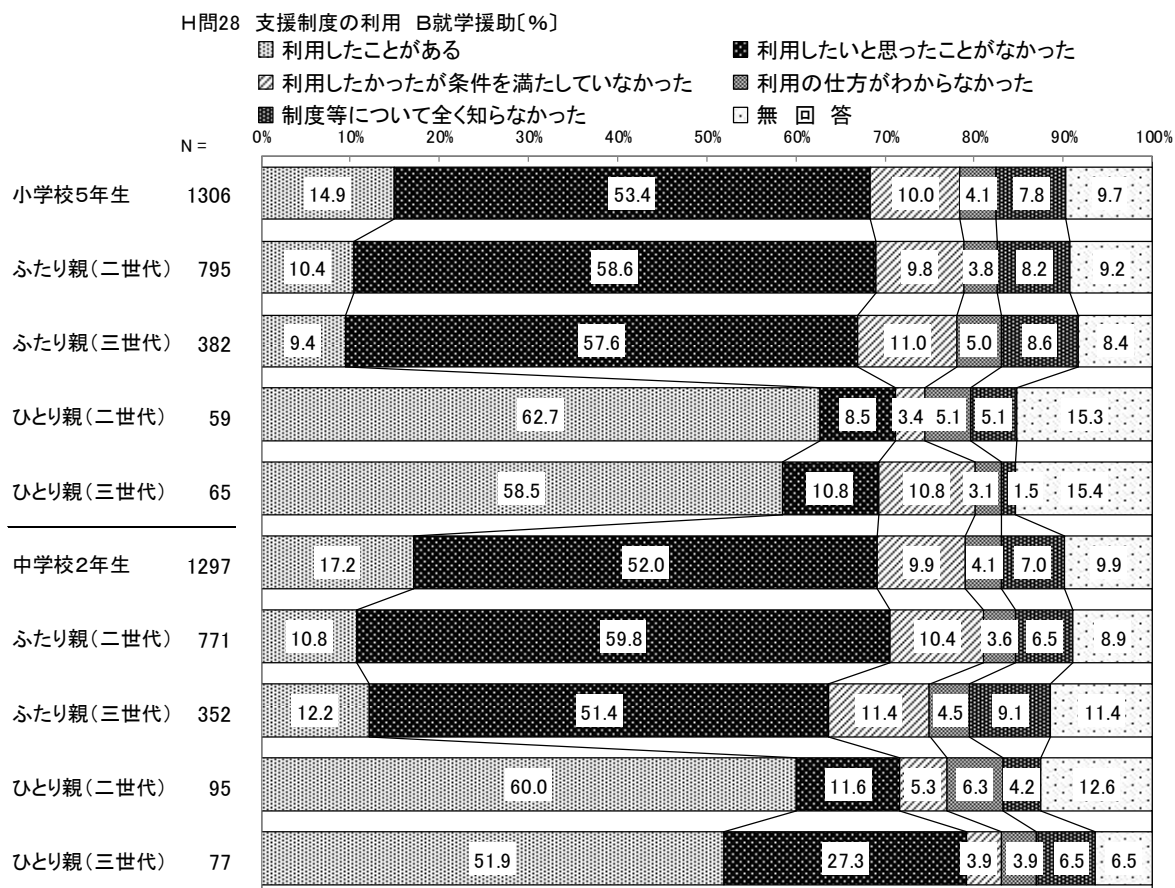
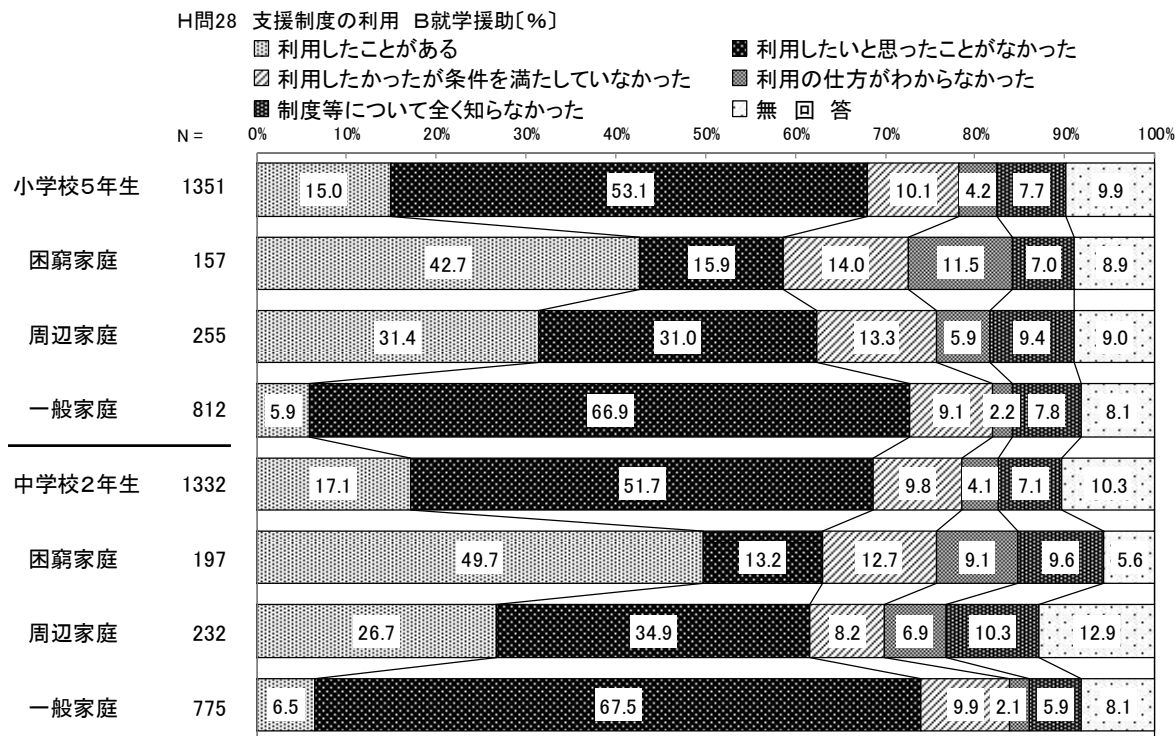
H問28 支援制度の利用 A児童扶養手当[%]



B 就学援助

学年・生活困難度別では、「利用したことがある」は各学年の困窮家庭でそれぞれ42.7%、49.7%と多く、各学年の周辺家庭もそれぞれ31.4%、26.7%と多い。

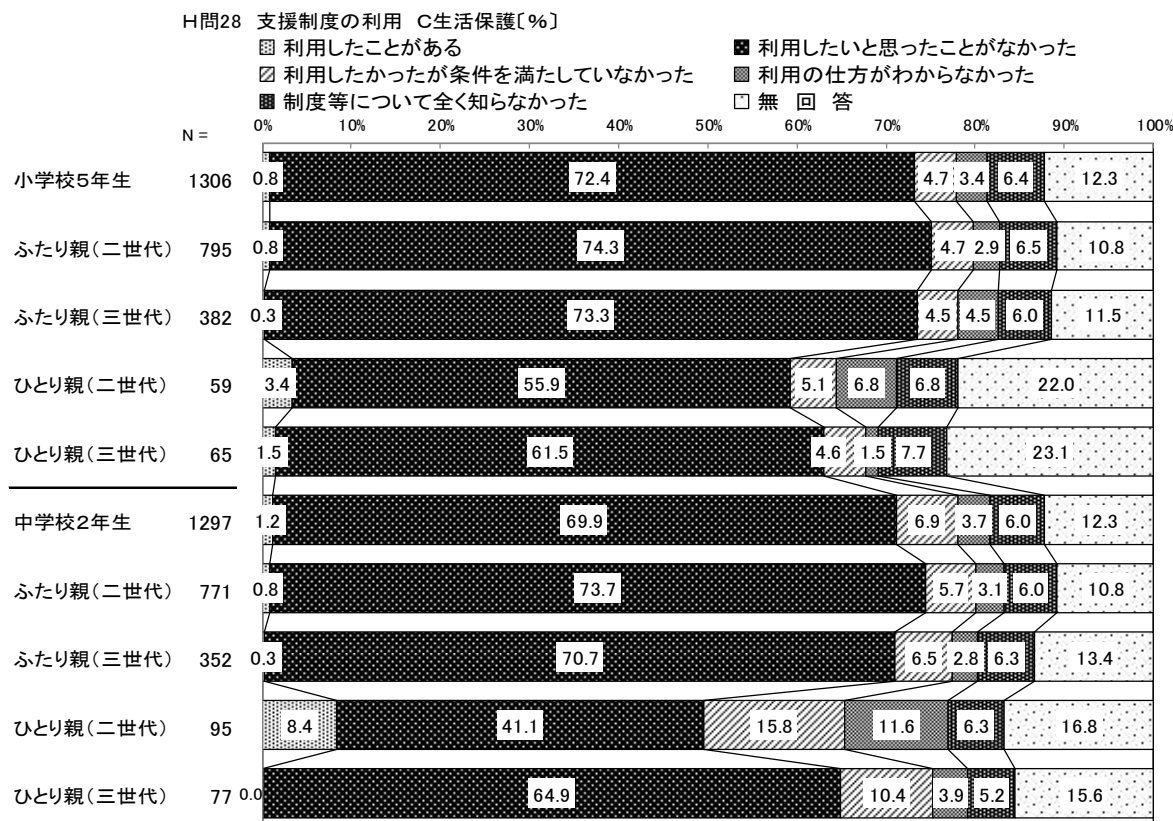
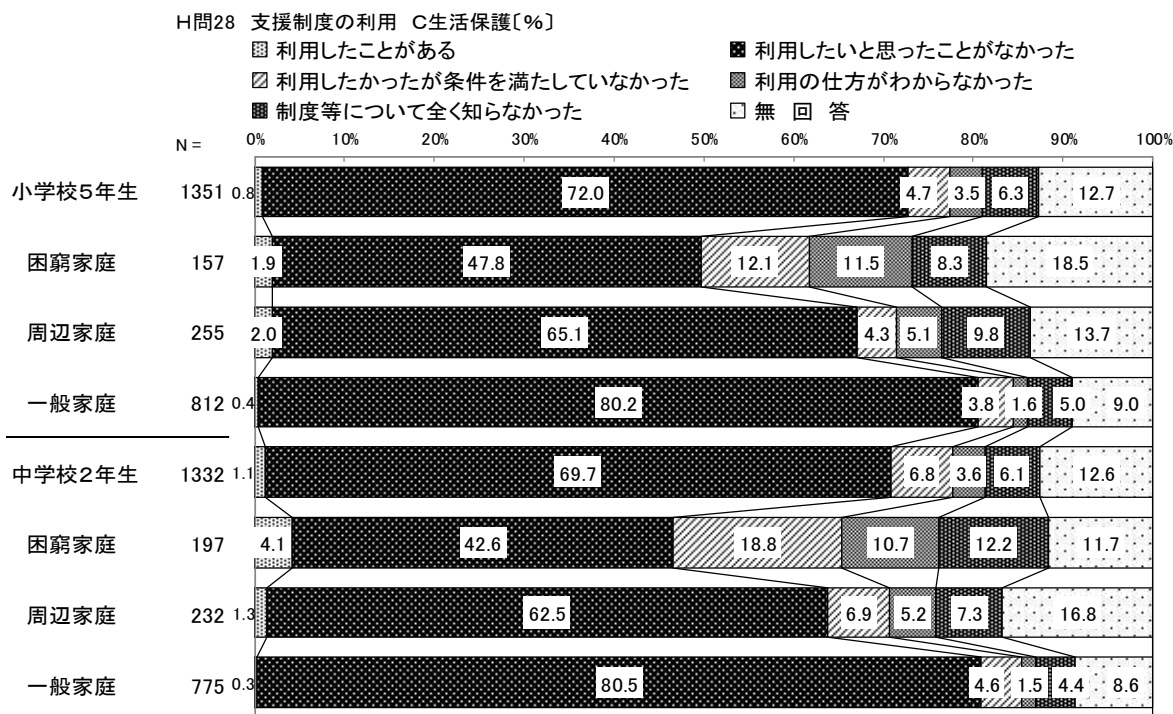
学年・世帯別では、「利用したことがある」は各学年のひとり親（二世帯）でともに60%を超えて多く、各学年のひとり親（三世帯）でともに50%を超えている。



C 生活保護

学年・生活困難度別では、生活困難度が上がると「利用したいと思ったことがなかった」が少なくなり、各学年の困窮家庭で「利用したかったが条件を満たしていなかった」が15%前後、「利用の仕方がわからなかった」が11%前後回答されている。

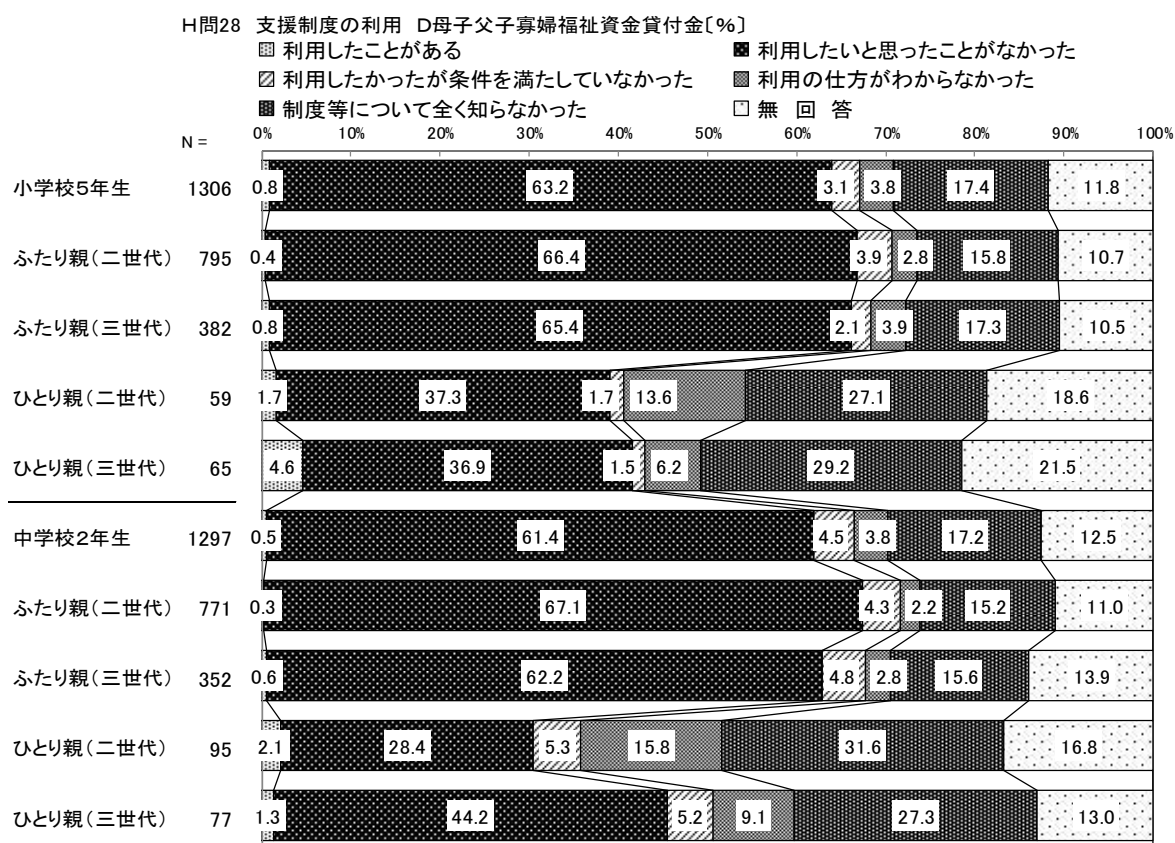
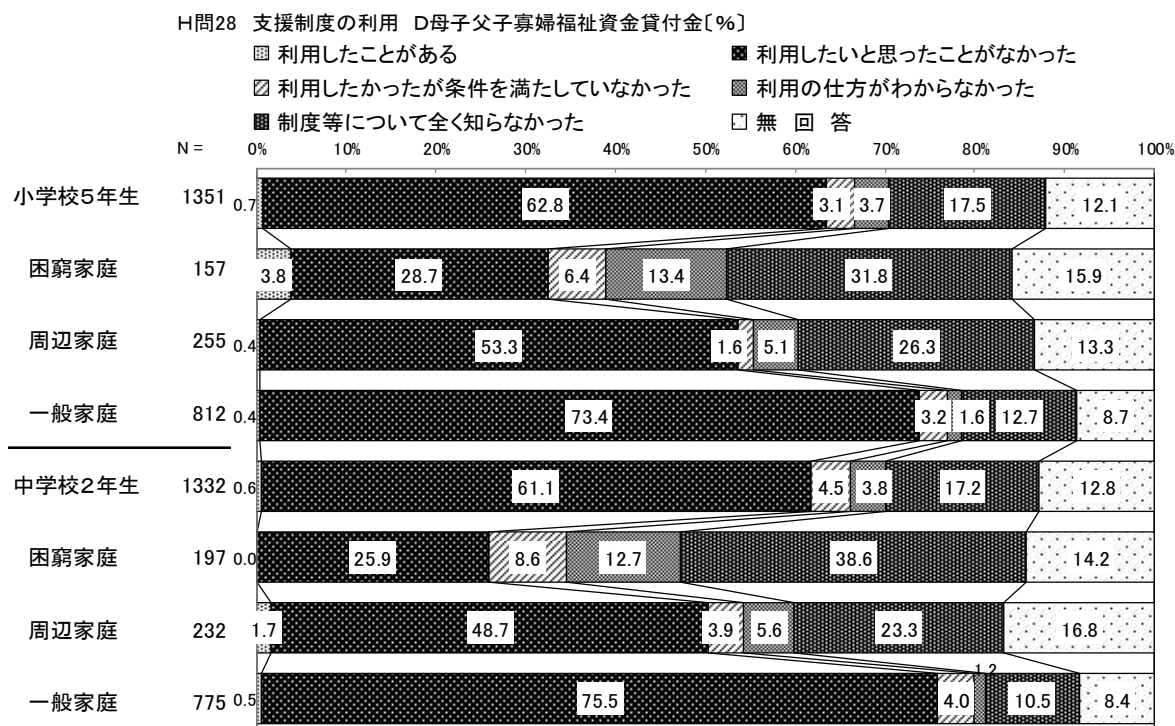
学年・世帯別では、ひとり親（二世帯）で「利用したいと思ったことがなかった」が少なく、中学校2年生のひとり親（二世帯）で「利用したかったが条件を満たしていなかった」と「利用の仕方がわからなかった」がそれぞれ15.8%、11.6%、「利用したことがある」が8.4%回答されている。



D 母子父子寡婦福祉資金貸付金

学年・生活困難度別では、生活困難度が上がると「利用したいと思ったことがなかった」が少なくなり、各学年の困窮家庭で「制度等について全く知らなかった」がそれぞれ31.8%、38.6%と多く、「利用の仕方がわからなかった」が13%前後と多い。

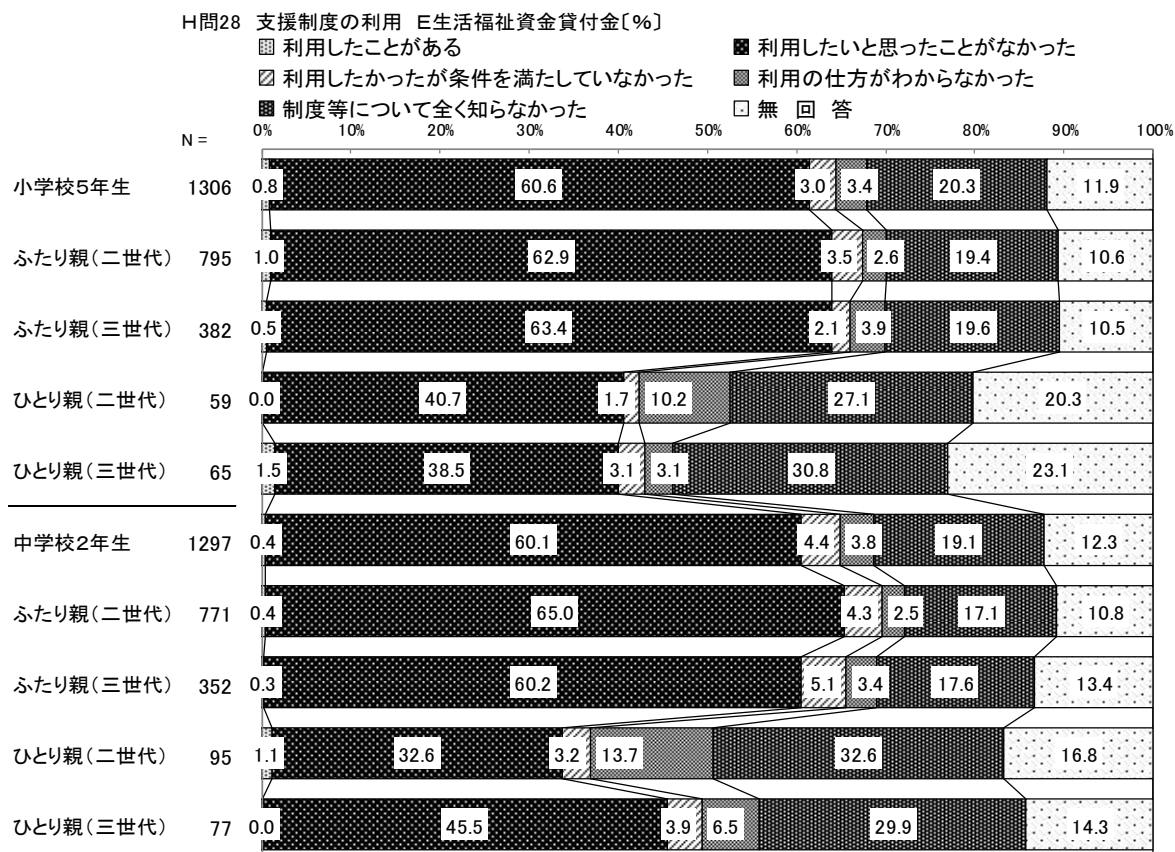
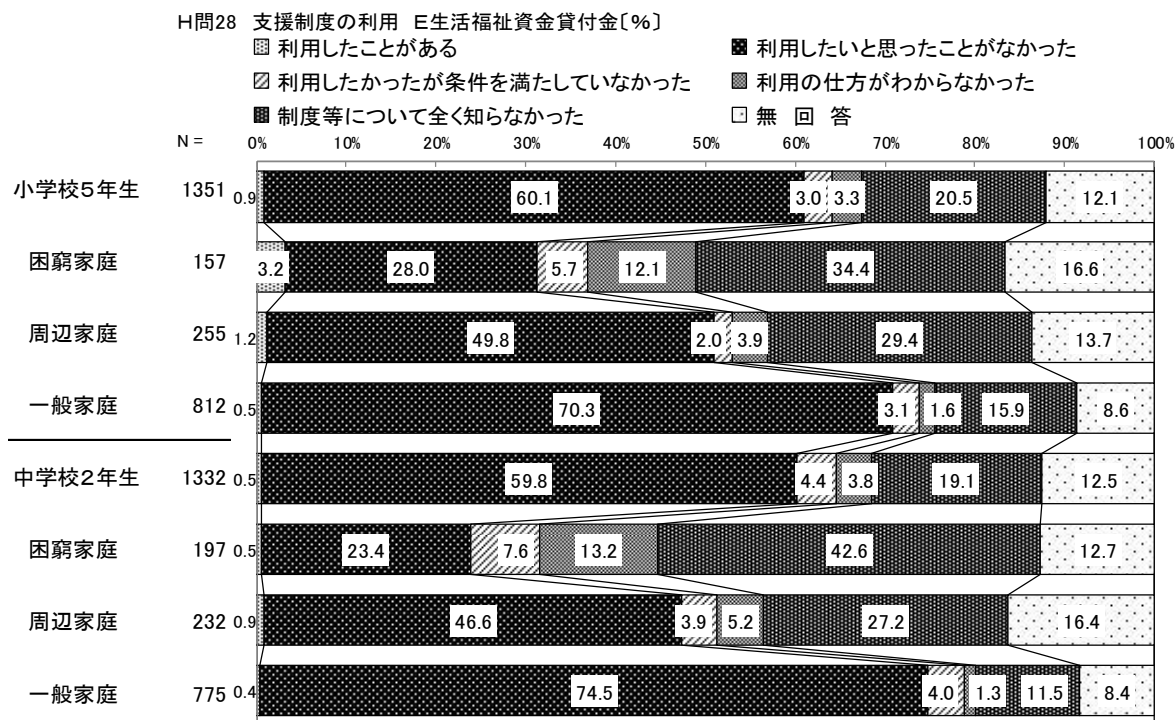
学年・世帯別では、各学年のひとり親（二世帯）・ひとり親（三世帯）で「制度等について全く知らなかった」が30%前後、各学年のひとり親（二世帯）で「利用の仕方がわからなかった」が15%前後と多い。



E 生活福祉資金貸付金

学年・生活困難度別では、生活困難度が上がると「利用したいと思ったことがなかった」が少なくなり、各学年の困窮家庭で「制度等について全く知らなかった」がそれぞれ34.4%、42.6%と多く、「利用の仕方がわからなかった」が13%前後と多い。

学年・世帯別では、「制度等について全く知らなかった」が各学年のひとり親（二世帯）とひとり親（三世帯）で30%前後と多い。「利用の仕方がわからなかった」は各学年のひとり親（二世帯）でともに10%を超えて多い。



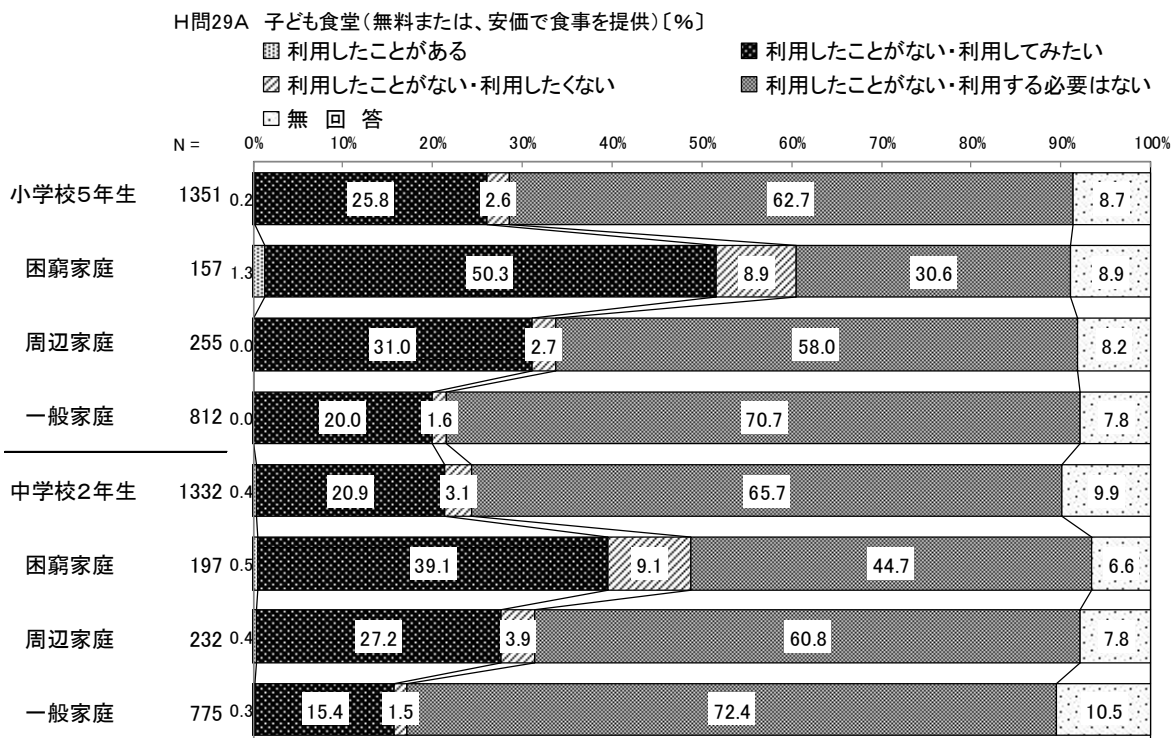
問 29 次のA～Dの支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。

A 子ども食堂（無料または、安価で食事を提供）

学年・生活困難度別では、「利用したことがない・利用してみたい」は小学校5年生の困窮家庭と周辺家庭でそれぞれ50.3%、31.0%、中学校2年生の困窮家庭で39.1%と多い。

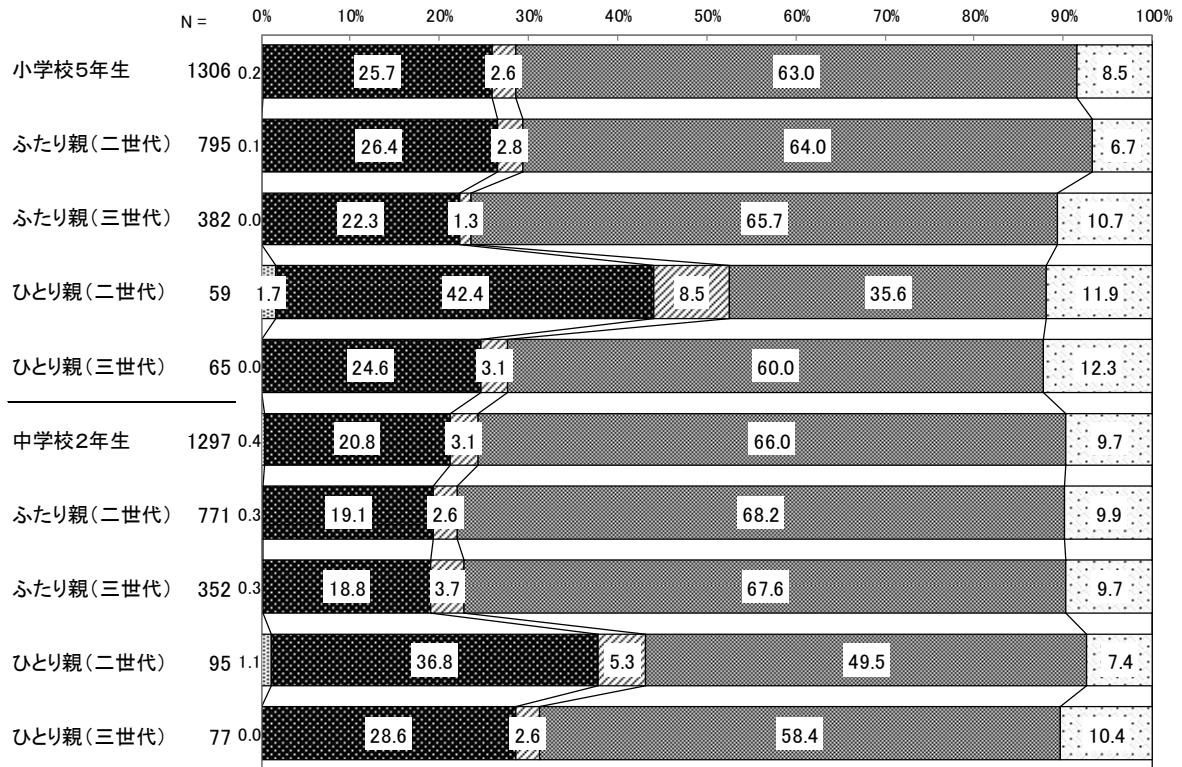
学年・世帯別では、「利用したことがない・利用してみたい」は各学年のひとり親（二世帯）で42.4%、36.8%と多い。

居住市部・町村部別では、あまり違いはみられない。



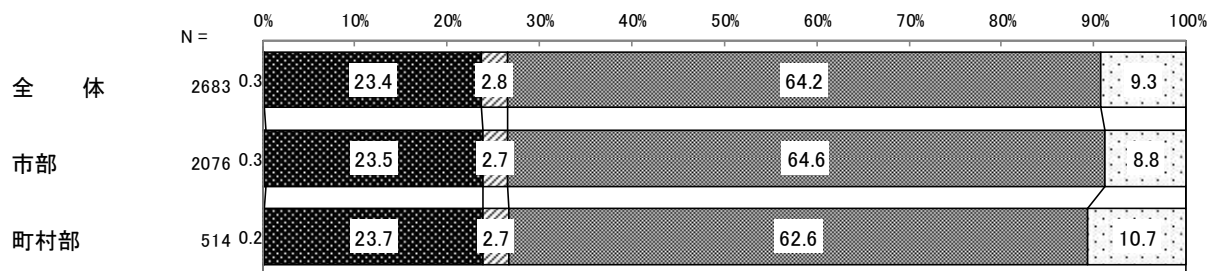
H問29A 子ども食堂(無料または、安価で食事を提供)〔%〕

- 利用したことがある
- 利用したことがない・利用してみたい
- 利用したことがない・利用したくない
- 利用したことがない・利用する必要はない
- 無 回 答



H問 29A 子ども食堂(無料または、安価で食事を提供)〔%〕×H問1 居住市部・町村部別

- 利用したことがある
- 利用したことがない・利用してみたい
- 利用したことがない・利用したくない
- 利用したことがない・利用する必要はない
- 無 回 答

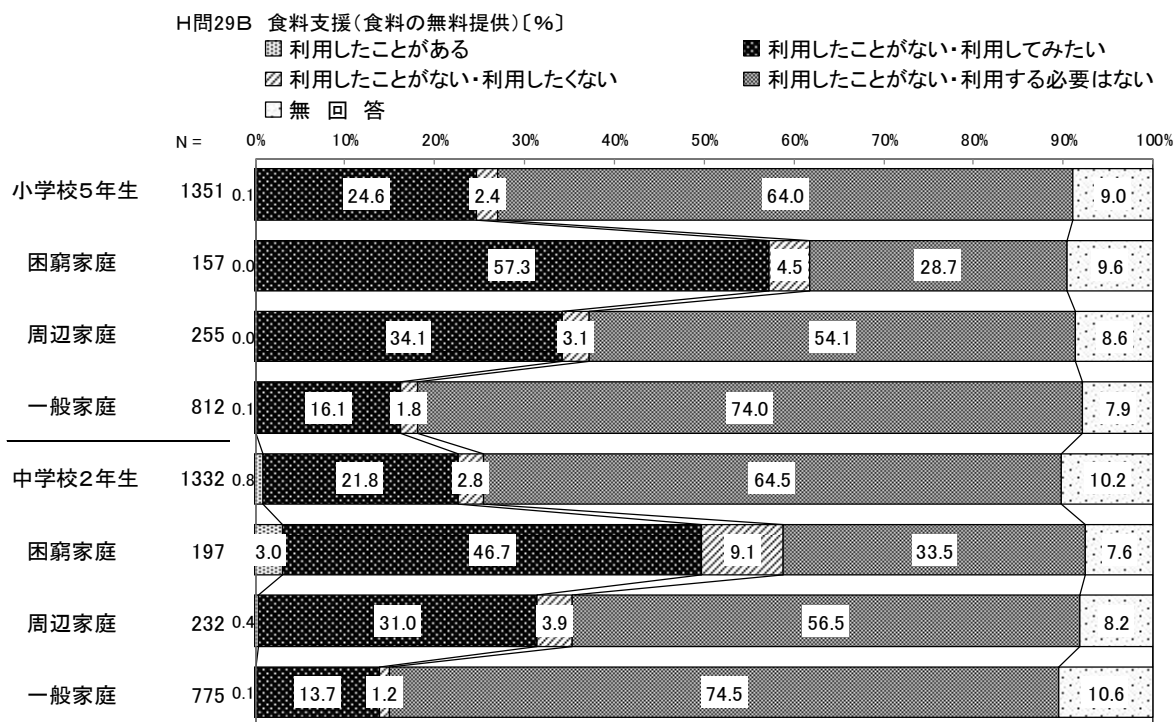


B 食料支援（食料の無料提供）

学年・生活困難度別では、「利用したことがない・利用してみたい」は小学校5年生の困窮家庭と周辺家庭でそれぞれ57.3%、34.1%と多く、中学校2年生の困窮家庭と周辺家庭でそれぞれ46.7%、31.0%と多い。

学年・世帯別では、各学年のひとり親（二世帯）で「利用したことがない・利用してみたい」が42.4%、38.9%と多い。

居住市部・町村部別では、あまり違いはみられない。

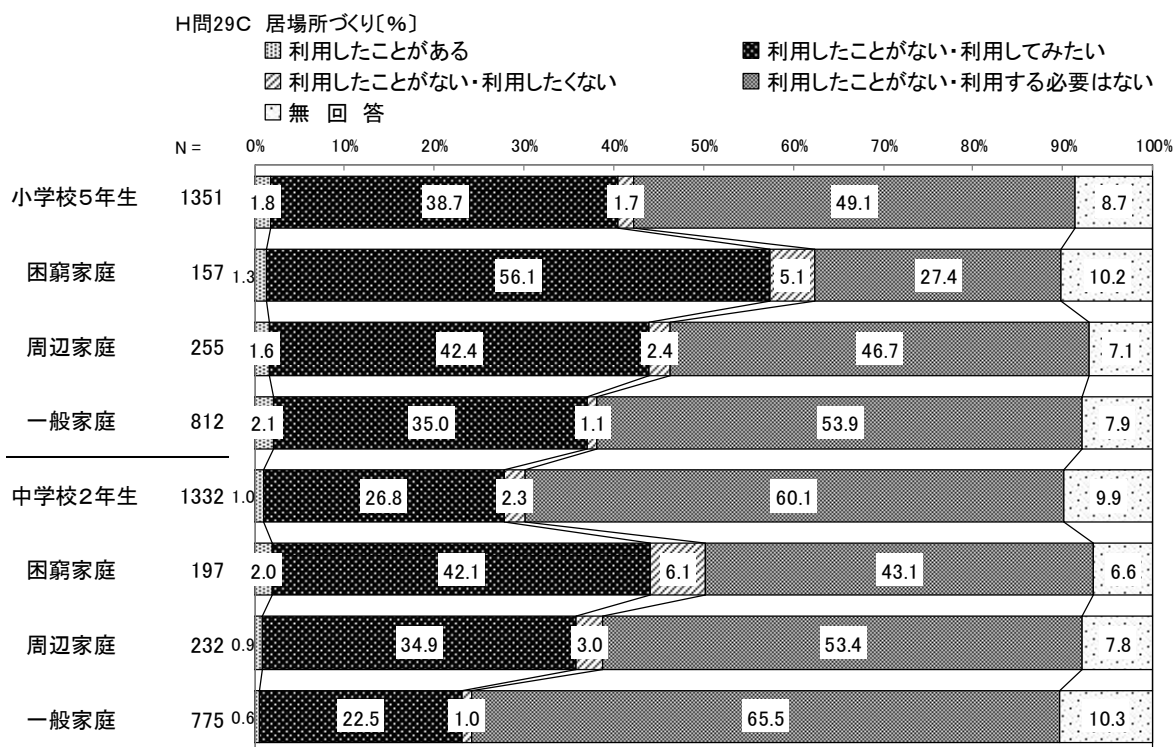


C 居場所づくり（無料で、子どもが自由に過ごすことができる場所の提供）

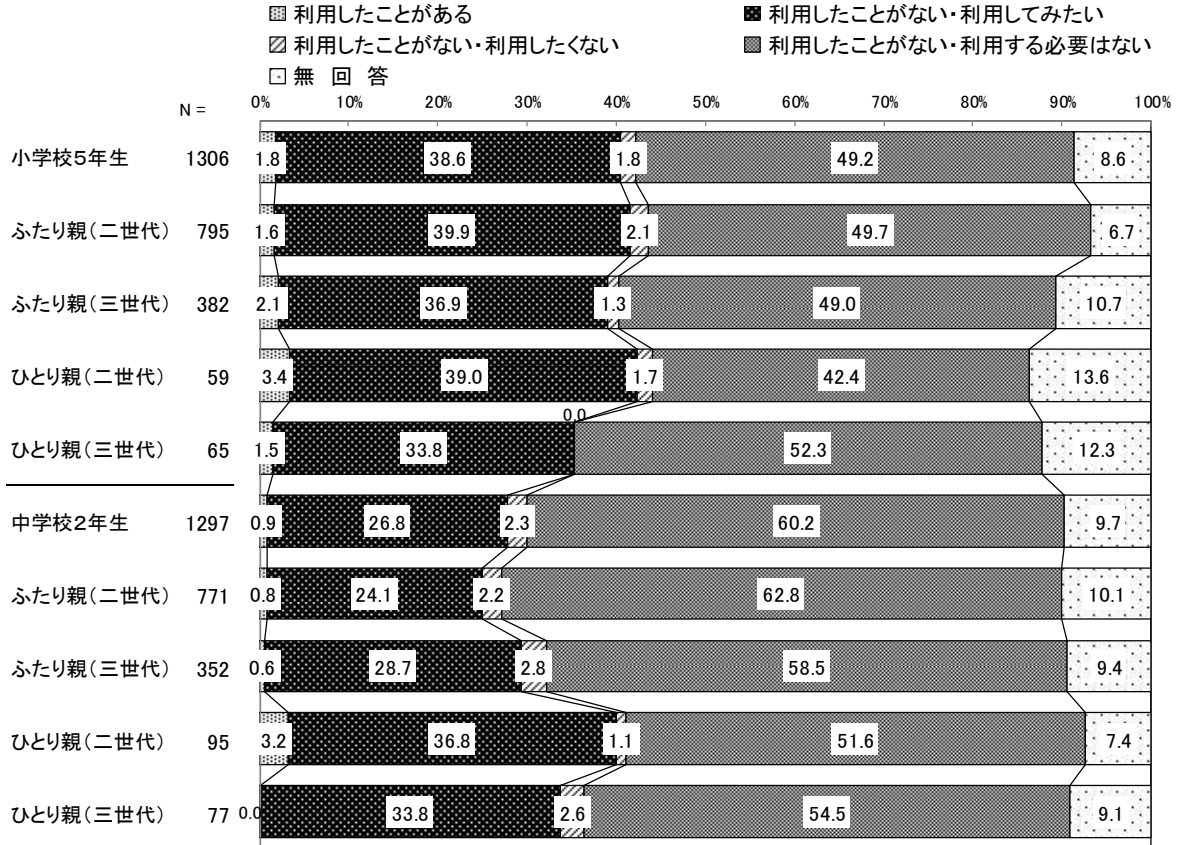
学年・生活困難度別では、「利用したことがない・利用してみたい」は小学校5年生の困窮家庭と周辺家庭でそれぞれ56.1%、42.4%、中学校2年生の困窮家庭で42.1%と多い。

学年・世帯別では、小学校5年生ではあまり違いはみられないが、中学校2年生ではひとり親の「利用したことがない・利用してみたい」がふたり親と比較すると多い。

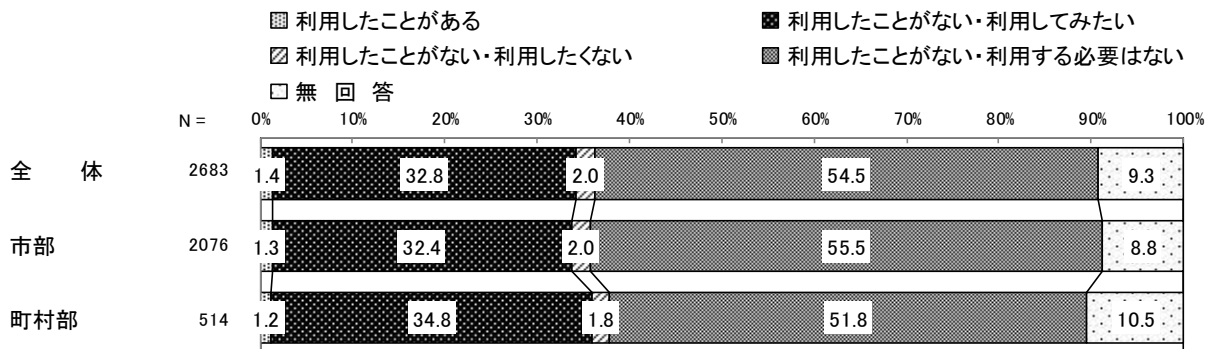
居住市部・町村部別では、あまり違いはみられない。



H問29C 居場所づくり[%]



H問 29C 居場所づくり[%] × H問1 居住市部・町村部別別

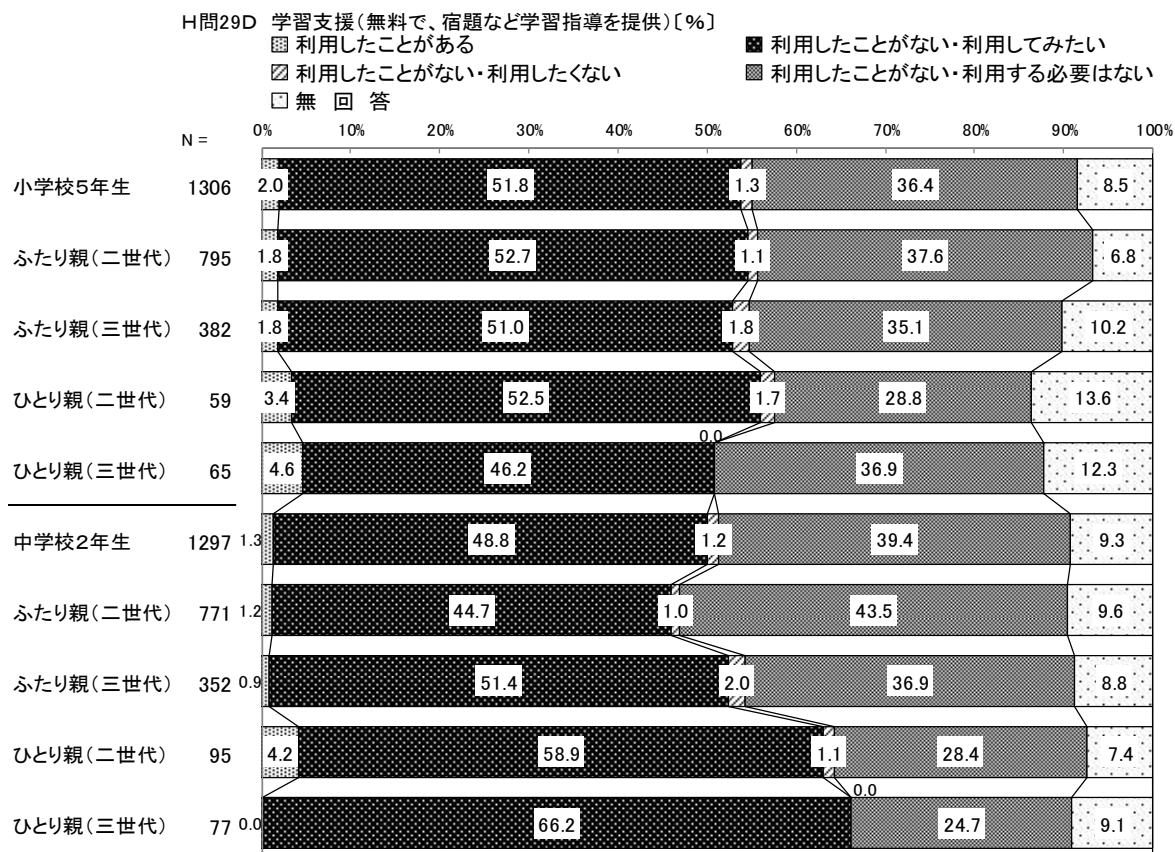
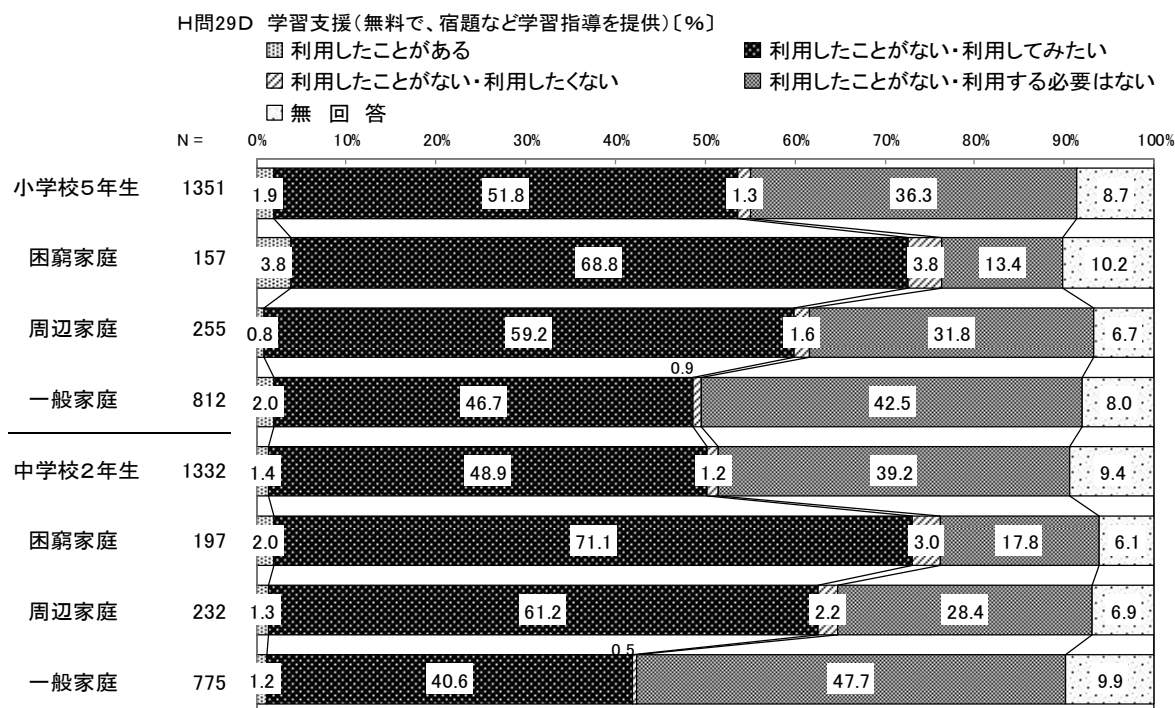


D 学習支援（無料で、宿題など学習指導を提供）

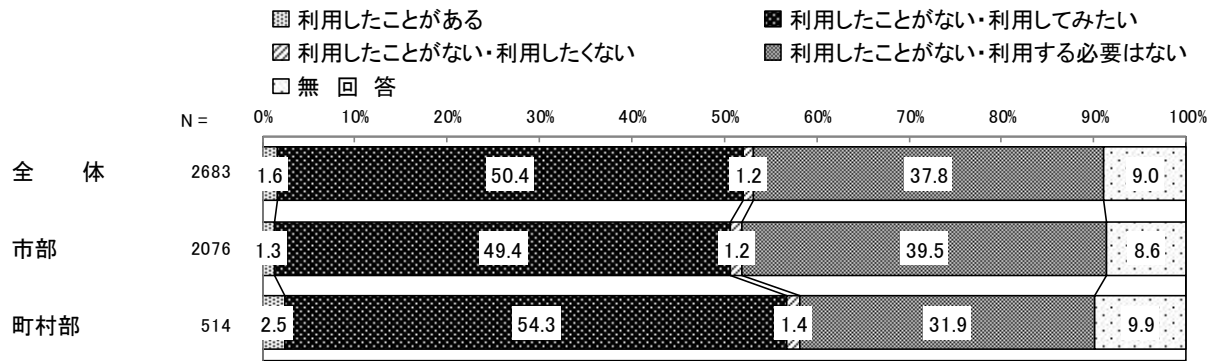
学年・生活困難度別では、「利用したことがない・利用してみたい」は各学年の困窮家庭で70%前後、各学年の周辺家庭で60%前後と多い。

学年・世帯別では、小学校5年生はあまり違いがみられないが、ひとり親の中学校2年生で「利用したことがない・利用してみたい」が60%前後と多い。

市部・町村部別では、「利用したことがない・利用してみたい」は市部で49.4%、町村部で54.3%であり、町村部の方がやや多い。



H問 29D 学習支援(無料で、宿題など学習指導を提供) [%] × H問1 居住市部・町村部別別



問 30 あなたは、子どもに関する制度・サービスの情報をどう方法で受け取っていますか。

生活困難度別では、いずれも「学校からのお便り（紙のもの）」が 80%前後と最も多く、「行政機関の広報誌」と「学校や友人からの情報」が多いが、困窮家庭はいずれの方法も他の家庭に比べ回答が少ない。

世帯別では、ひとり親はいずれの方法もふたり親と比較し回答が少ない傾向にあるが、「行政機関のホームページ」はふたり親と比較すると多い。

